

令和3年11月17日

令和3年11月物価モニター調査結果（速報）

1. 調査の目的

原油価格や為替レートなどの動向が生活関連物資等の価格に及ぼす影響、物価動向についての意識等を正確・迅速に把握し、消費者等へタイムリーな情報提供を行う。

2. 調査の内容

全国47都道府県の物価モニター2,000人が、調査対象である25品目の価格の見取調査を行うことにより、生活関連物資等の価格（特売品等の廉売価格も含む。）の動向を把握する。また、物価モニターに対し、物価動向についての意識等を調査し、その動向を把握する。

3. 調査結果の概要

【価格調査結果】

- ① 価格が前月比で上昇した品目数が、下落した品目数を上回った。
「上昇した品目数－下落した品目数」は+13となった。
- ② 価格上昇幅が前月比1%以上の品目は食用油（+2.6%）。
- ③ 価格下落幅が前月比1%以上の品目はポテトチップス（▲1.3%）。

【意識調査結果】

- ① 直近の緊急事態宣言下と比較した現在の消費行動の変化について聞いたところ、「緊急事態宣言下の消費行動から変容したが、緊急事態宣言下と一部変わらない部分もある」と回答したモニターの割合が45.3%、「緊急事態宣言下の消費行動からほとんど変わらない」が45.2%、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大前とほぼ同様の消費行動に戻った」が9.5%と続いた。
- ② 現在の消費行動等について、直近の緊急事態宣言下から変容したものについて聞いたところ、「特になし」と回答したモニターの割合が41.9%と最も高く、「飲酒を含まない外食の機会が増えた」が20.4%、「買い物の際はまとめ買いをせず、必要なものを都度買うようになった」が17.8%と続いた。
- ③ 現在の消費行動等について、直近の緊急事態宣言下から変わらないものについて聞いたところ、「遠方への旅行は避けるようにしている」と回答したモニターの割合が50.5%と最も高く、「食事は家庭内で済ませるか、テイクアウトを利用することが多い」が41.4%、「買い物の際はまとめ買いを心掛けている」が33.4%と続いた。
- ④ 昨年1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大を受け消費行動等の変容を余儀なくされた中、今後も引き続き行っていきたいことについて聞いたところ、「外食を極力控えたり、テイクアウトの利用を増やす」と回答したモニターの割合が34.2%、「自宅にいながら楽しめる趣味等の充実」が34.0%、「遠方への旅行を避ける」が33.9%と続いた。

4. 次回公表予定

12月物価モニター調査結果は12月15日（水）に公表予定。

※11月物価モニター調査は、11月4日（木）～8日（月）に実施。

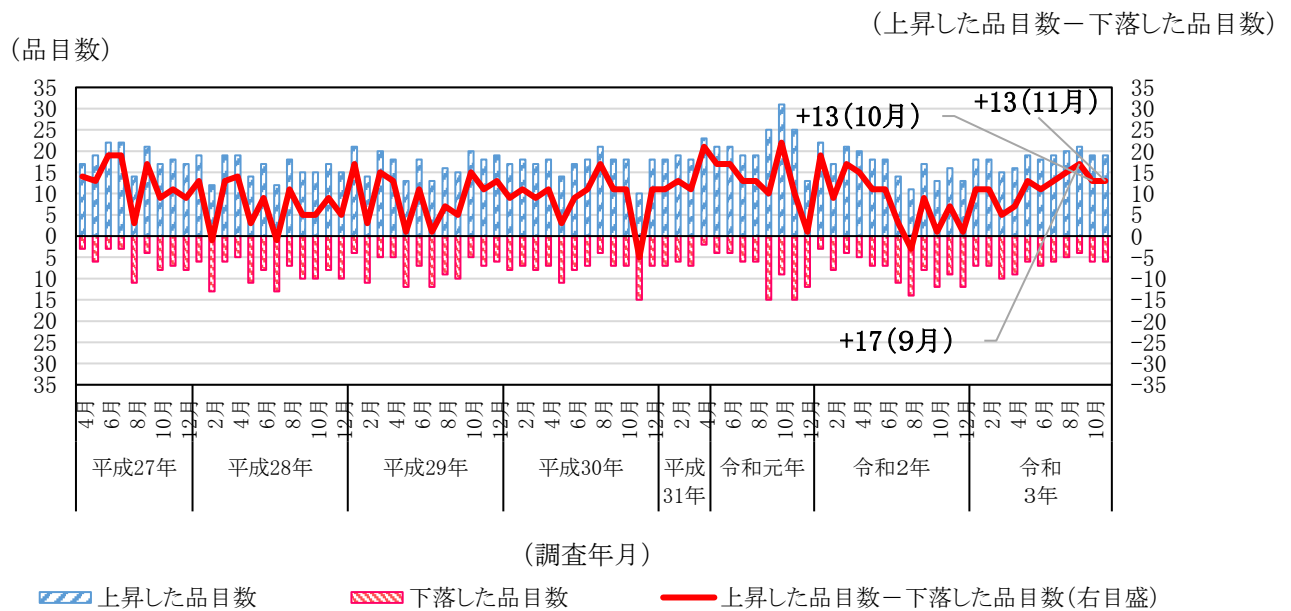
※速報取りまとめ後に集計した分については、翌月の速報における前月値に反映させる。

※過去の調査結果及び調査結果のバックデータについては、以下のURLを参照。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_partnerships/price_measures/index.html#price_monitor

【価格調査結果】

① 上昇した品目数と下落した品目数（前回調査比及び前月比）



- (備考)
- 平成 27 年 4 月以前の調査については前回調査比、5 月以降の調査については前月比でそれぞれ税抜価格が上昇した品目数及び下落した品目数を示す。
 - 平成 27 年 4 月以降の調査では、それまでのまぐろ（ツナ）缶詰、マヨネーズ、カレーパウダー、灯油、ガソリンの 5 品目に代えて、ヨーグルト、からあげ弁当、冷凍コロッケ、理髪代又はカット代、中華そばの 5 品目を調査。
 - 平成 28 年 4 月以降の調査では、ビールの指定内容をそれまでの 1 缶に代えて、6 缶を調査。
 - 平成 29 年 4 月以降の調査では、洗濯用洗剤の指定内容をそれまでの粉末タイプ 1 箱に代えて、液体（詰め替え・770～850g）を調査。洗濯代（クリーニング）の指定内容をそれまでの折り畳み仕上げに代えて、立体仕上げを調査。
 - 令和元年 9～11 月調査は 40 品目中の上昇した品目数及び下落した品目数を示す。

② 上昇幅が前月比 1 %以上の品目

食料品 食用油（+2.6%）

③ 下落幅が前月比 1 %以上の品目

食料品 ポテトチップス（▲1.3%）

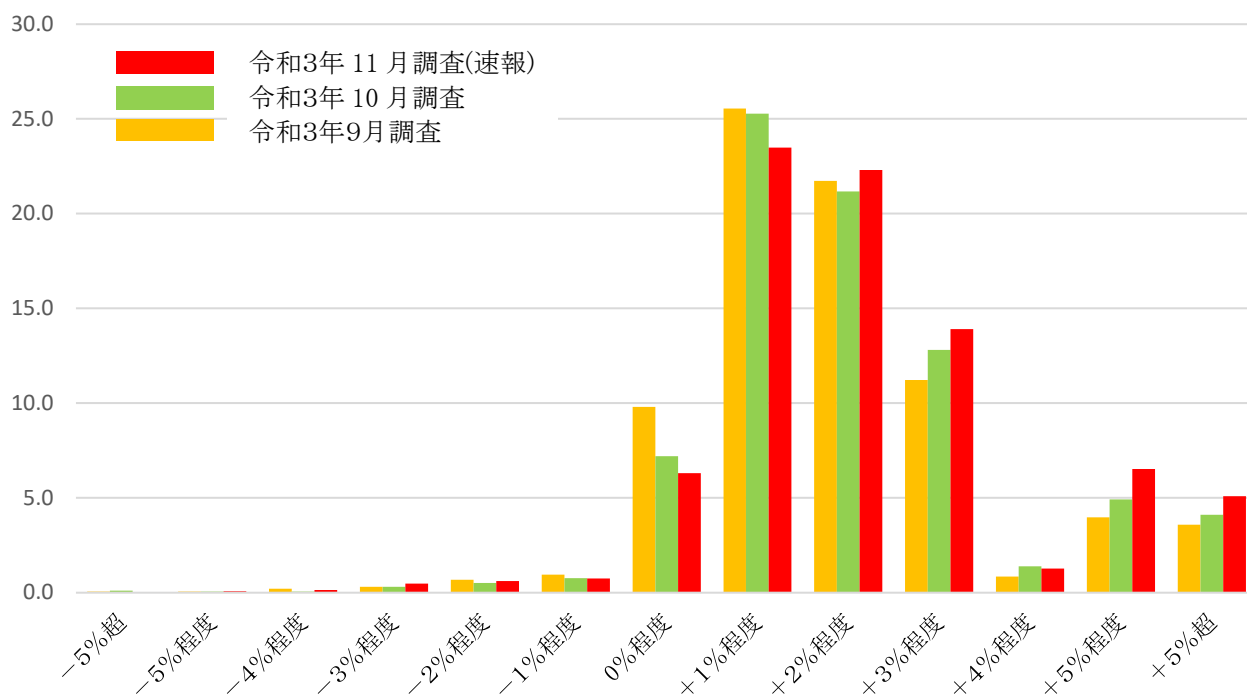
【意識調査結果】

< 1年後の物価の見通しと期待物価上昇率 >

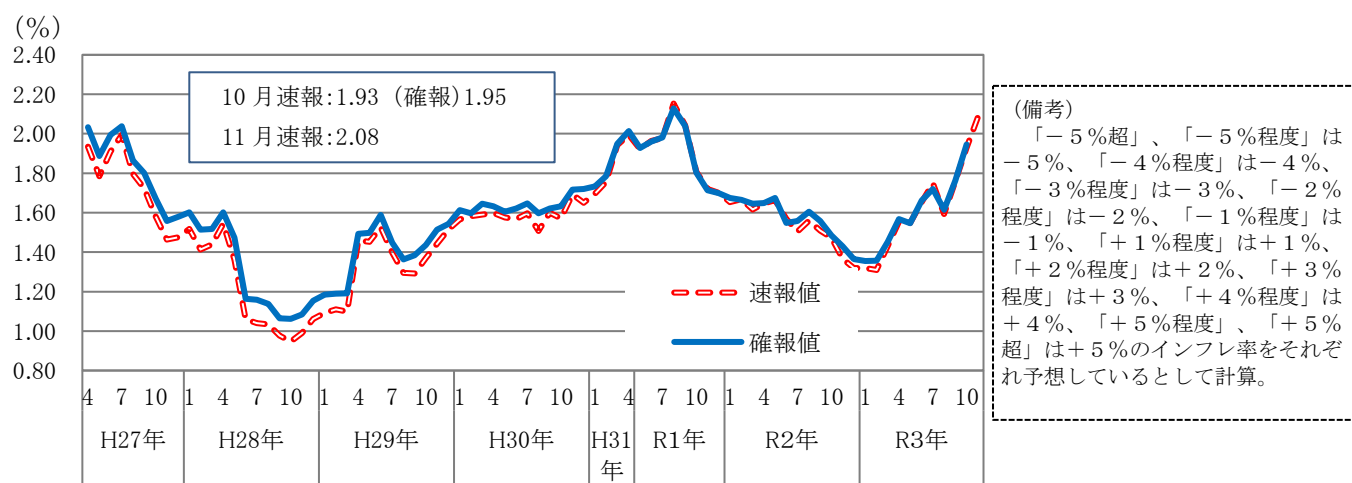
【1年後の物価の見通し(現在の水準と比較した変化率)】

(回答者の割合)
(%)

(11月中央値=+1%程度～+2%程度)



【物価モニターが予想する期待物価上昇率】



(調査年月)

本件に関する問合せ先

消費者庁 参事官(公益通報・協働担当)室

担当: 岡田、笠原

TEL: 03-3507-9179

FAX: 03-3507-9286

調査結果データ

1. 価格調査結果

(1) 食料品

品目	食パン	生中華麺	カップ麺	ソーセージ	豚肉 (ロース)	豆腐	牛乳	ヨーグルト	卵
前月比(%)	0.3	-0.3	-0.2	0.1	0.5	0.3	0.0	0.5	-0.2
指数	128.0	122.8	149.4	117.9	137.5	114.7	116.0	125.4	111.1
前年比(%)	3.0	3.7	5.5	2.3	5.4	2.1	1.2	3.5	7.1

品目	茶飲料	果実飲料	ポテト チップス	アイス クリーム	食用油	からあげ 弁当	冷凍 コロッケ	おにぎり	※ビール
前月比(%)	-0.4	0.4	-1.3	0.1	2.6	0.1	0.3	0.2	0.2
指数	108.4	124.2	134.3	126.5	168.4	105.4	88.2	116.4	103.3
前年比(%)	2.4	2.0	4.3	3.8	26.2	0.8	1.0	1.1	0.4

(2) 日用・家事用品

品目	※洗濯用 洗剤	ティッシュ ペーパー	紙おむつ	シャンプー
前月比(%)	0.6	0.6	-0.2	0.2
指数	127.5	132.0	105.9	118.2
前年比(%)	5.2	2.4	0.7	4.9

(3) サービス等

品目	※洗濯代	理髪代又 はカット代	中華そば
前月比(%)	0.1	0.1	0.3
指数	106.5	105.0	106.5
前年比(%)	2.2	1.1	1.3

(備考)

指数は、平成 27 年 4 月の税抜平均価格を 100 として、調査時点の税抜平均価格を指数化したもの。

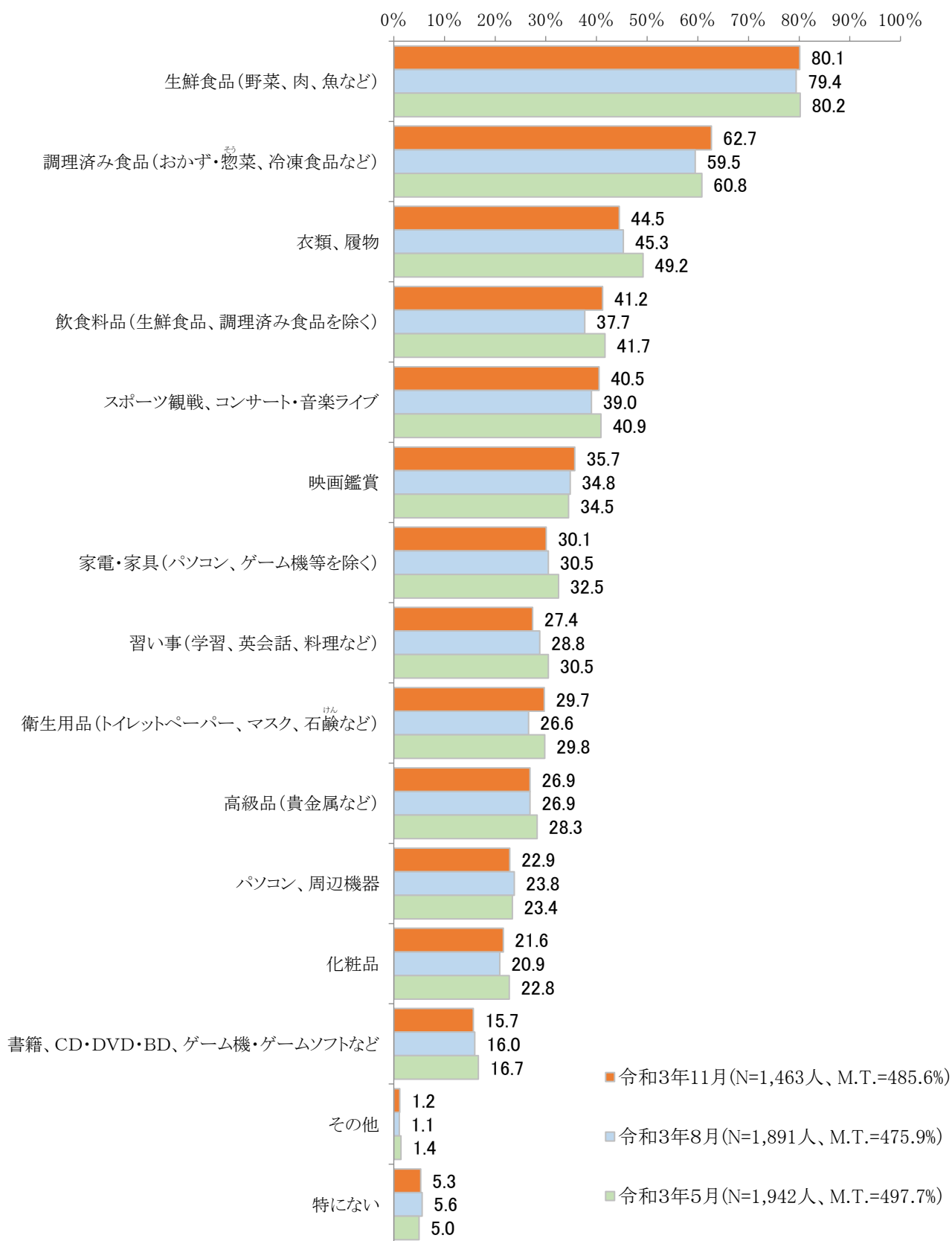
※ビールは、平成 28 年 4 月の税抜平均価格を 100 として指数化。洗濯用洗剤と洗濯代は平成 29 年 4 月の税抜平均価格を 100 として指数化。

※令和元年 10 月 1 日から令和 2 年 6 月 30 日まで消費税率引上げに合わせて各事業者が実施していたキャッシュレス決済に対するポイント還元制度は考慮しない。

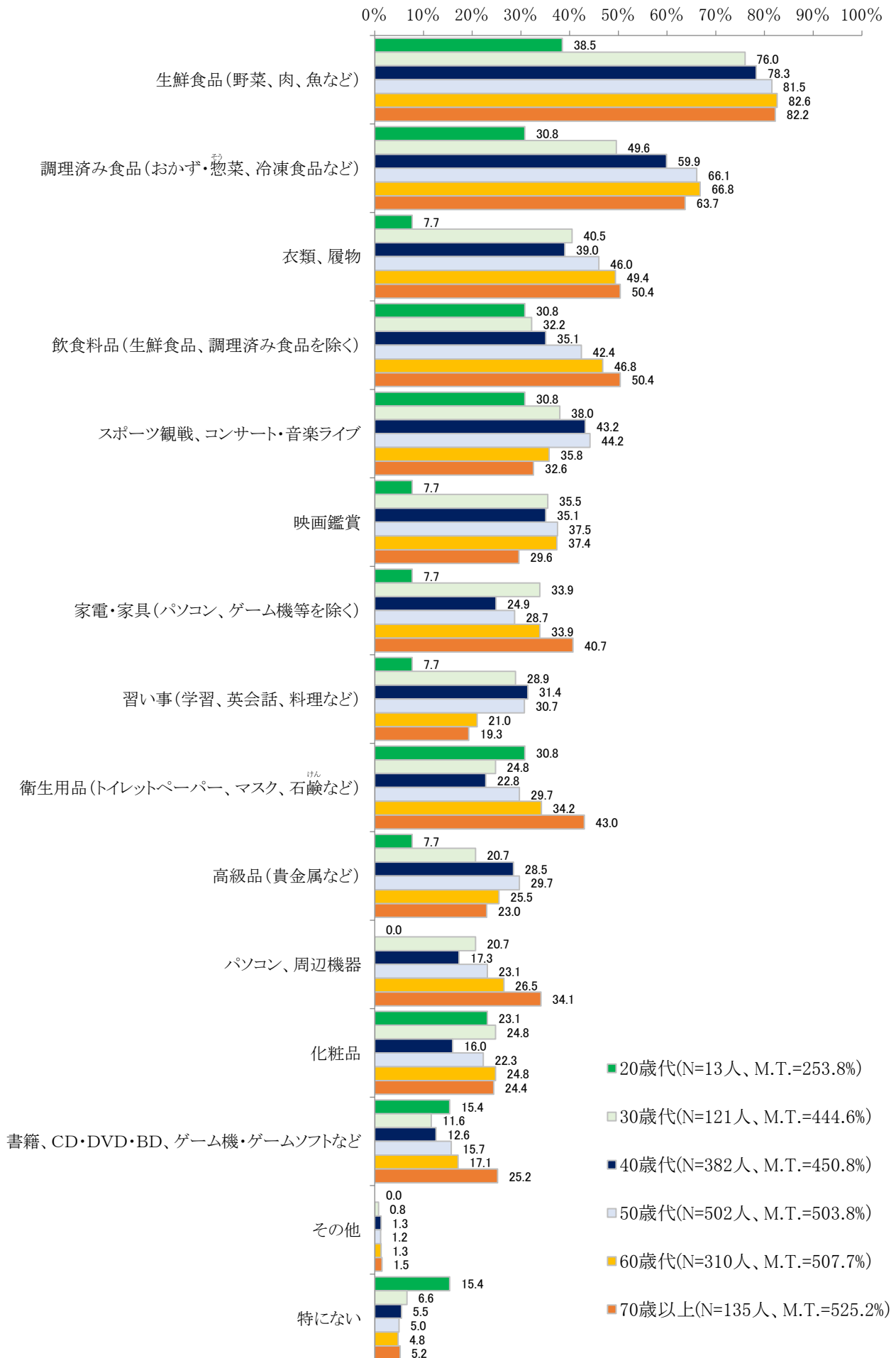
2. 意識調査結果

問1 以下の分野の商品・サービスのうち【店頭で購入】又は【実際の会場等（自宅外）で体験※】したいと思うものは何ですか。該当するものを全て選んでください。

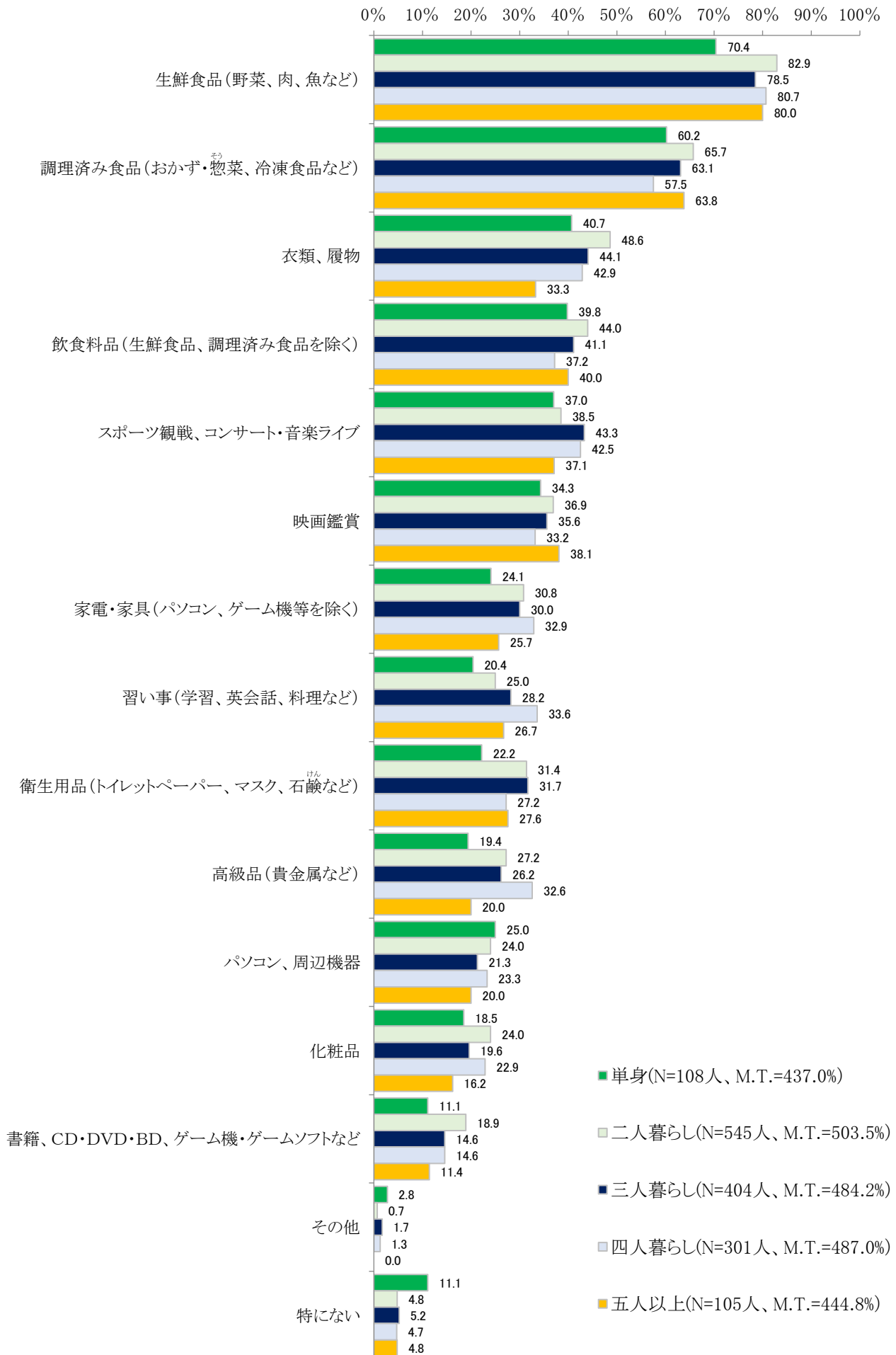
（※）映画鑑賞やスポーツ観戦等については、チケットを店頭で購入するか否かに関わらず、鑑賞・観戦を【実際の会場等（自宅外）で体験】したいと思うものを選んでください。



＜年代別＞



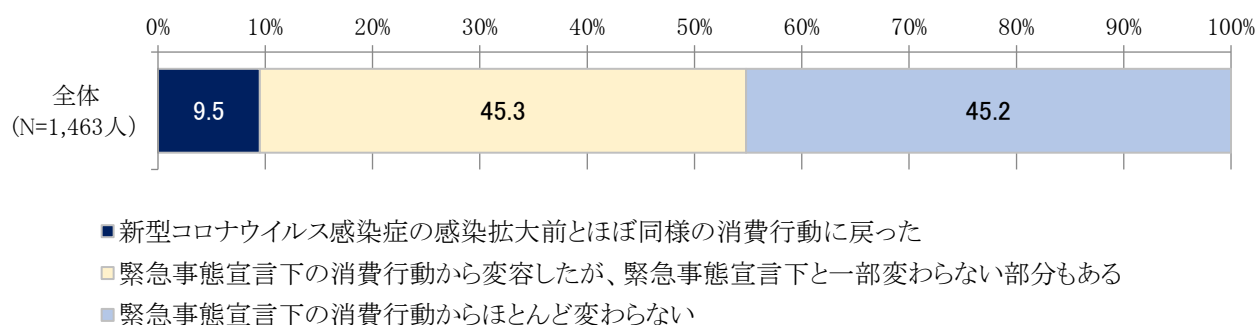
＜居住形態別＞



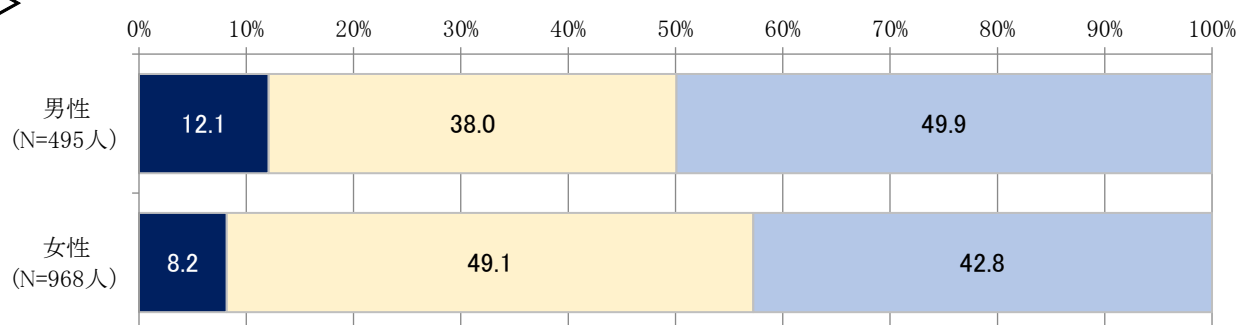
緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が、9月30日をもって全都道府県で解除されました。
緊急事態宣言等の解除を受けた現在の消費行動の変容及び今後の意向についてお伺いします。

問2 直近の緊急事態宣言(※)下と比較した現在のあなたの消費行動の変化について、最も当てはまるものを1つ選んでください。

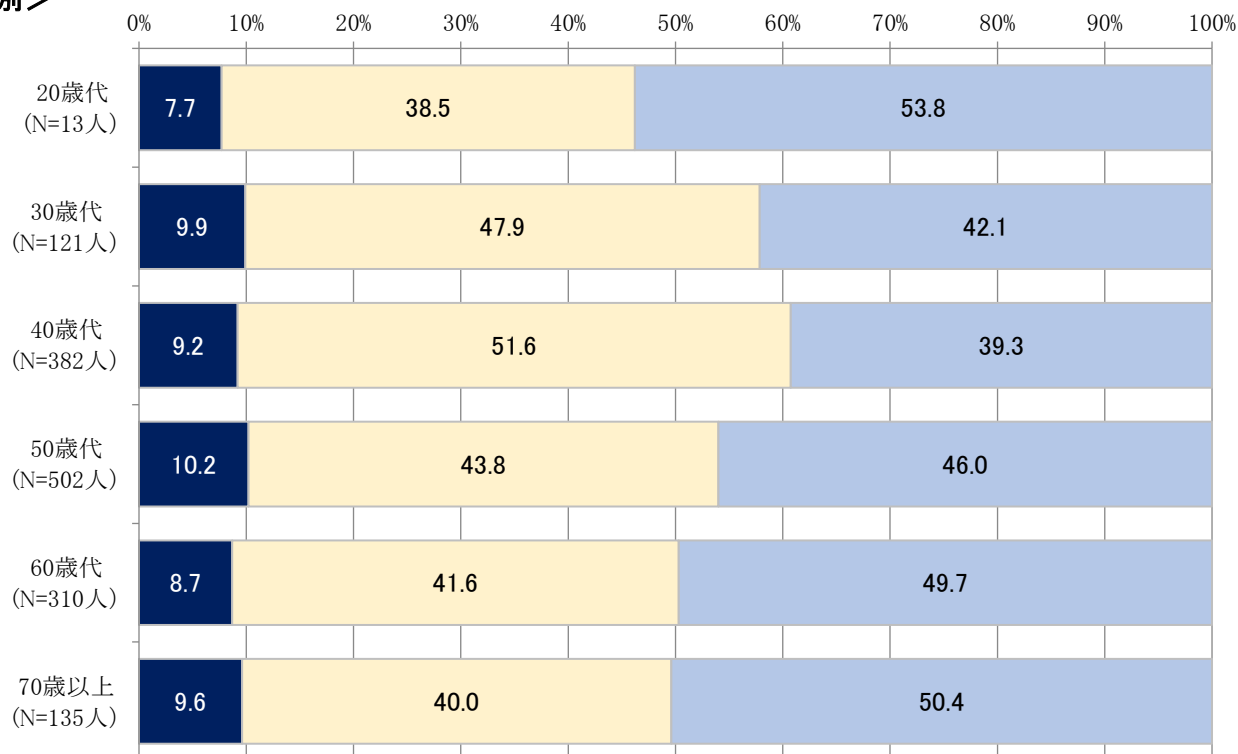
(※)あなたのお住まいの都道府県における直近に発出された緊急事態宣言をいいます。



<性別>

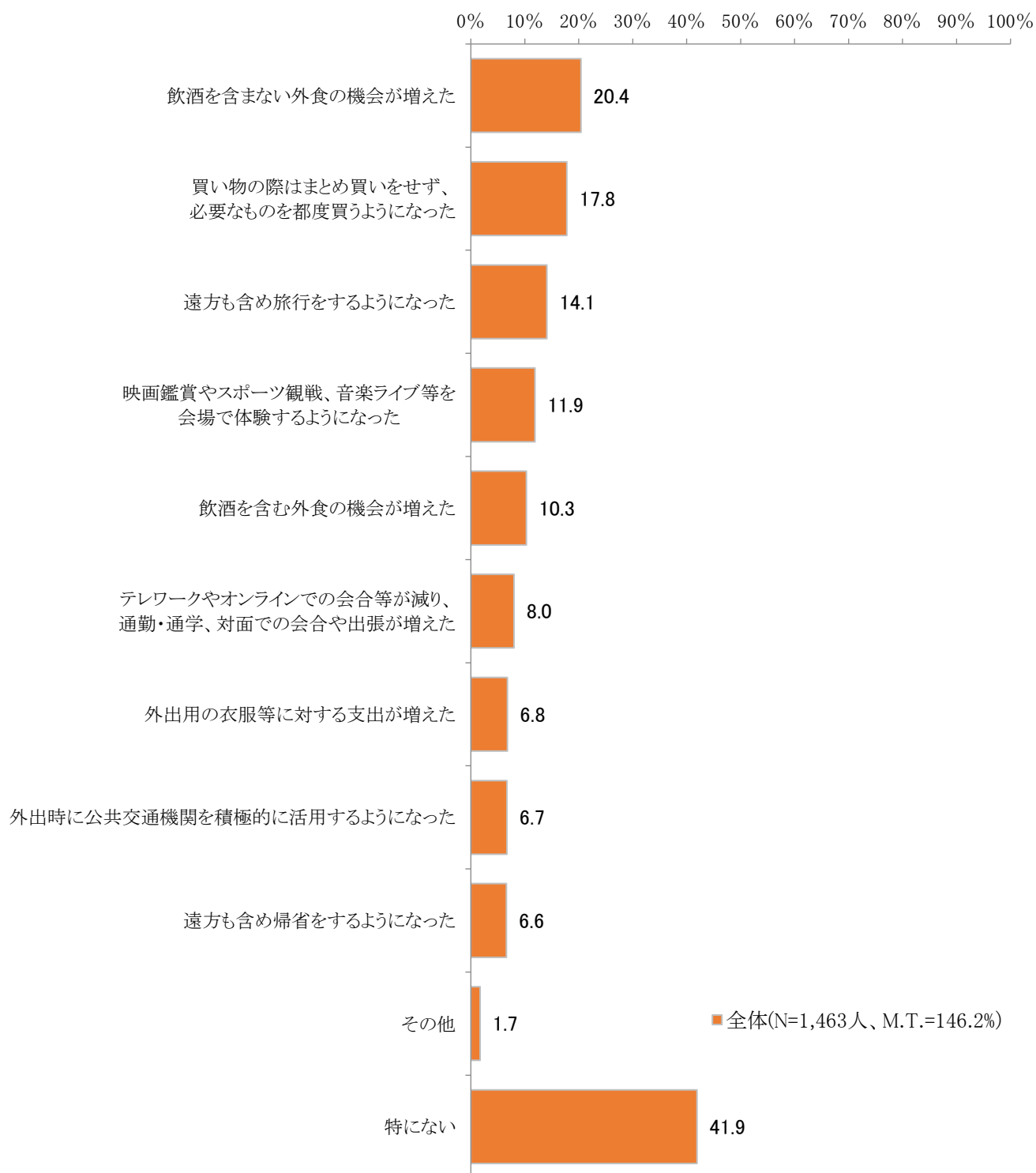


<年代別>

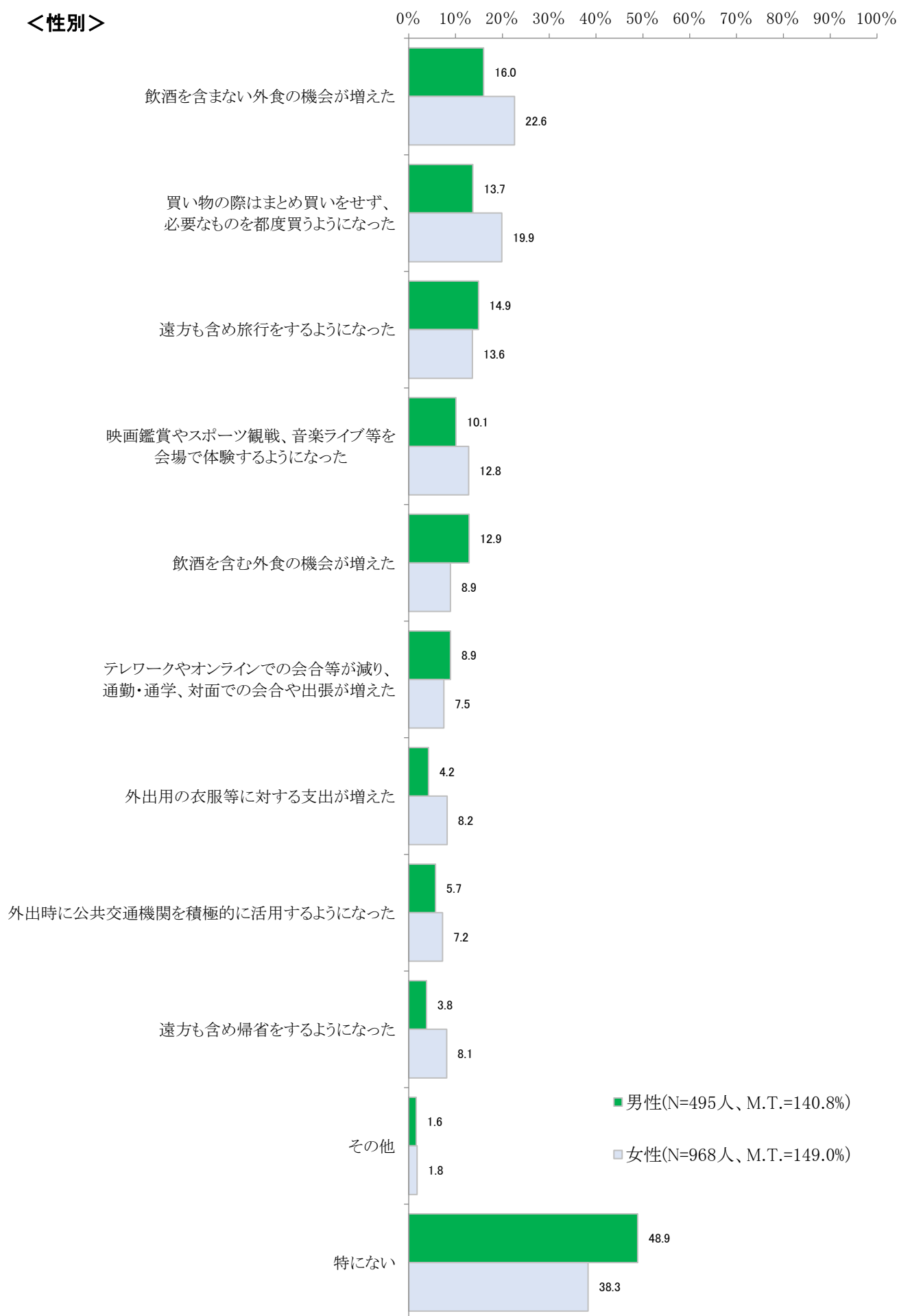


- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前とほぼ同様の消費行動に戻った
- 緊急事態宣言下の消費行動から変容したが、緊急事態宣言下と一部変わらない部分もある
- 緊急事態宣言下の消費行動からほとんど変わらない

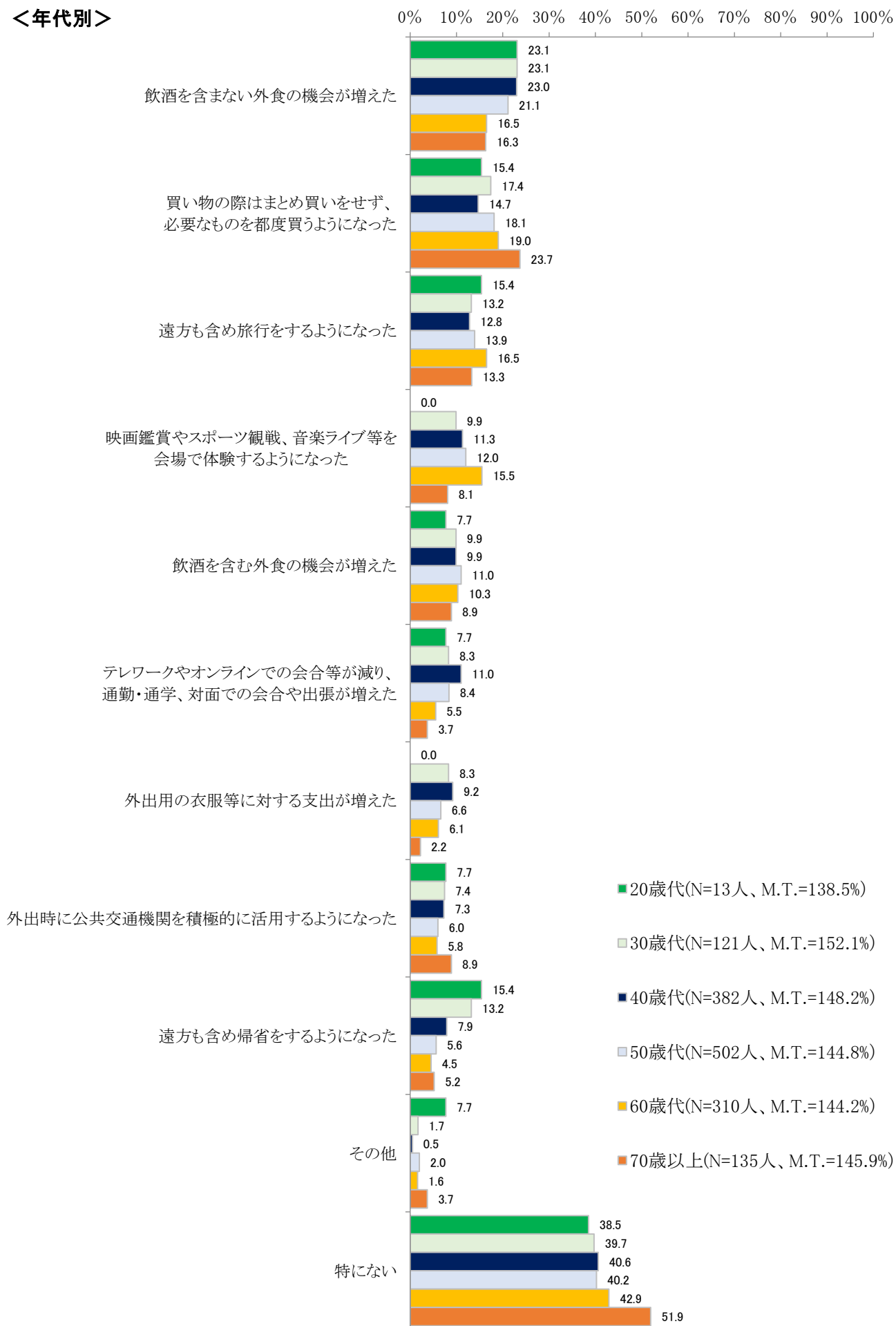
問3 現在の消費行動等について、直近の緊急事態宣言下から変容したものを全て選んでください。



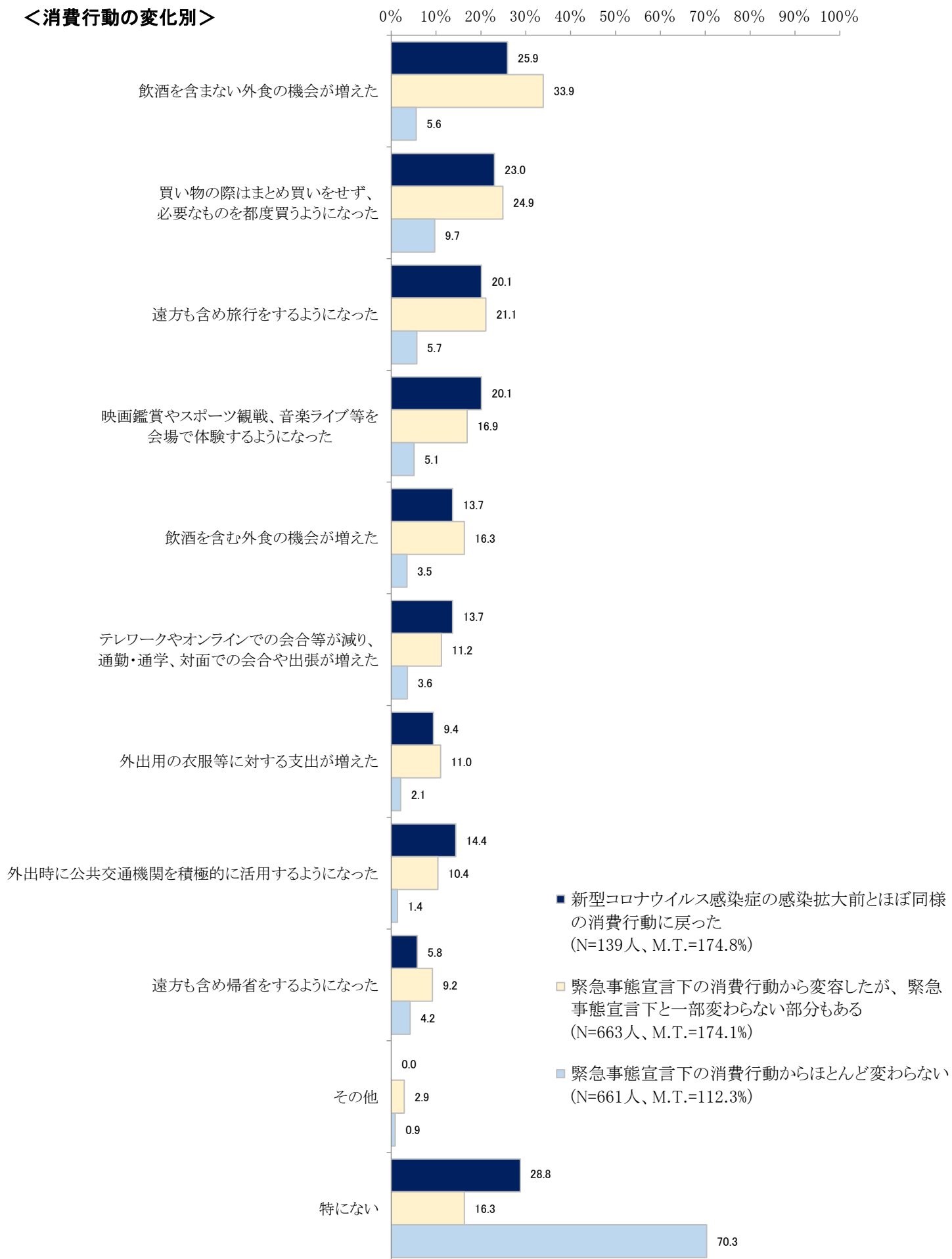
<性別>



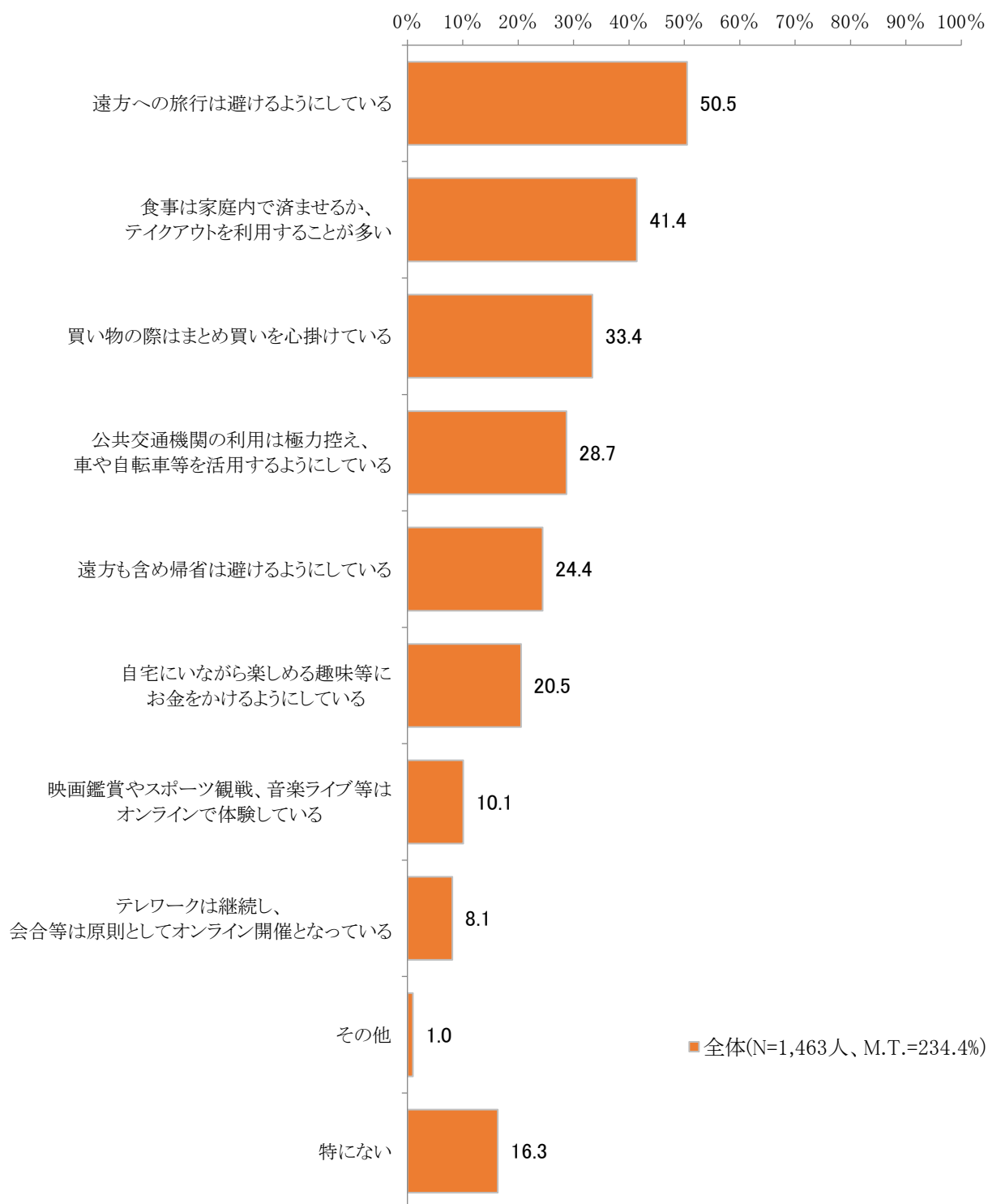
<年代別>



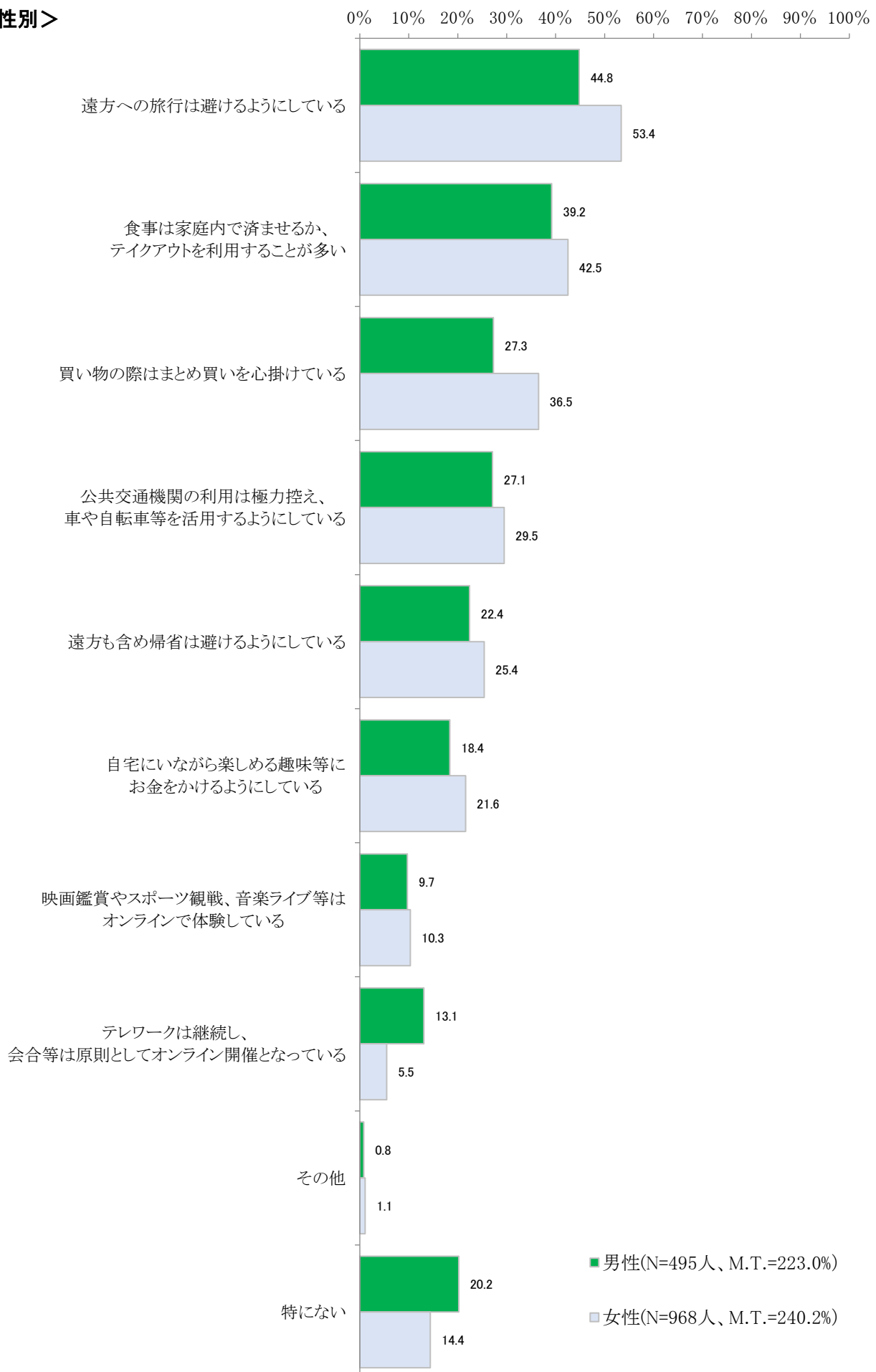
<消費行動の変化別>



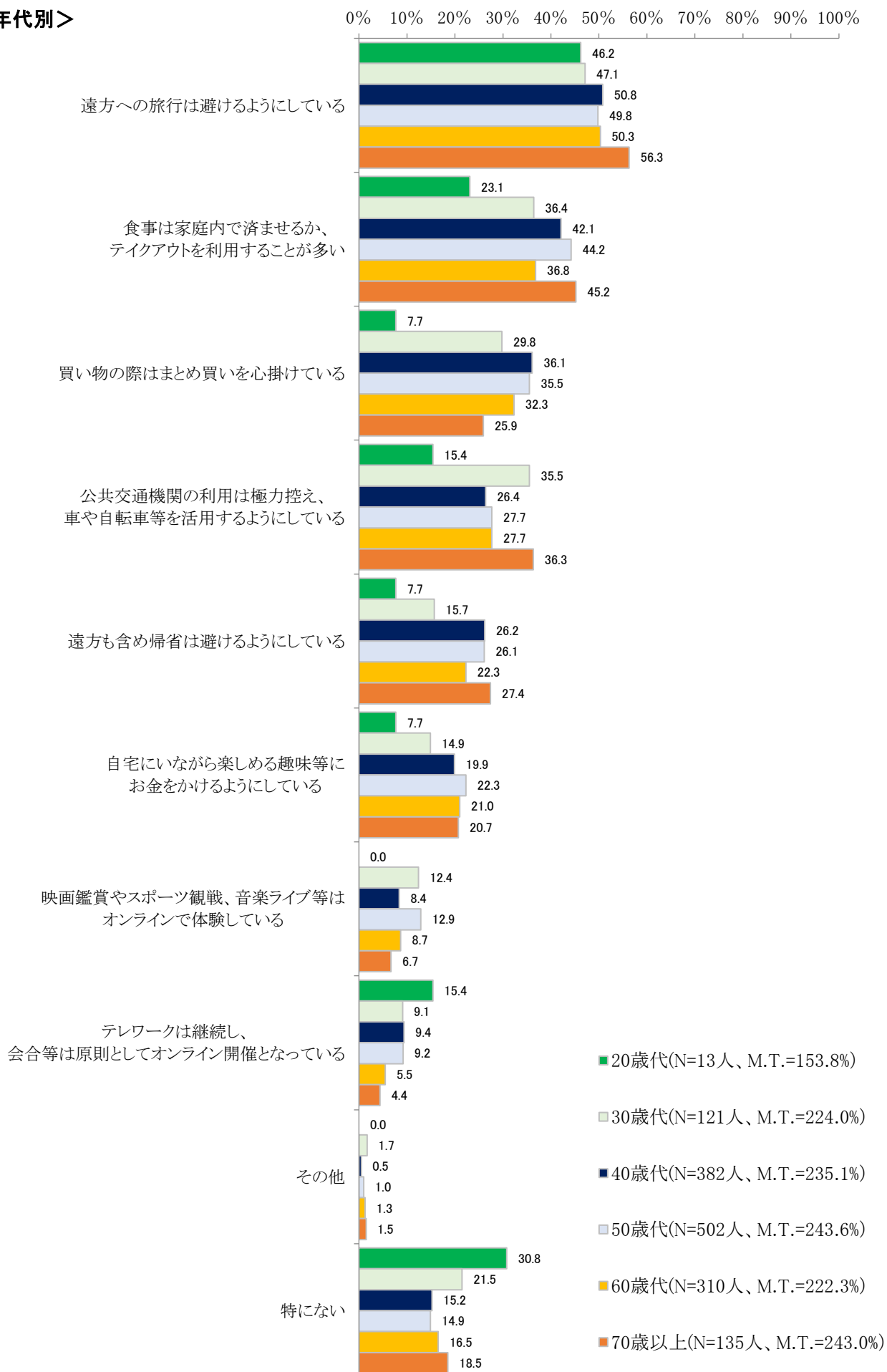
問4 現在の消費行動等について、直近の緊急事態宣言下から変わらないものを全て選んでください。



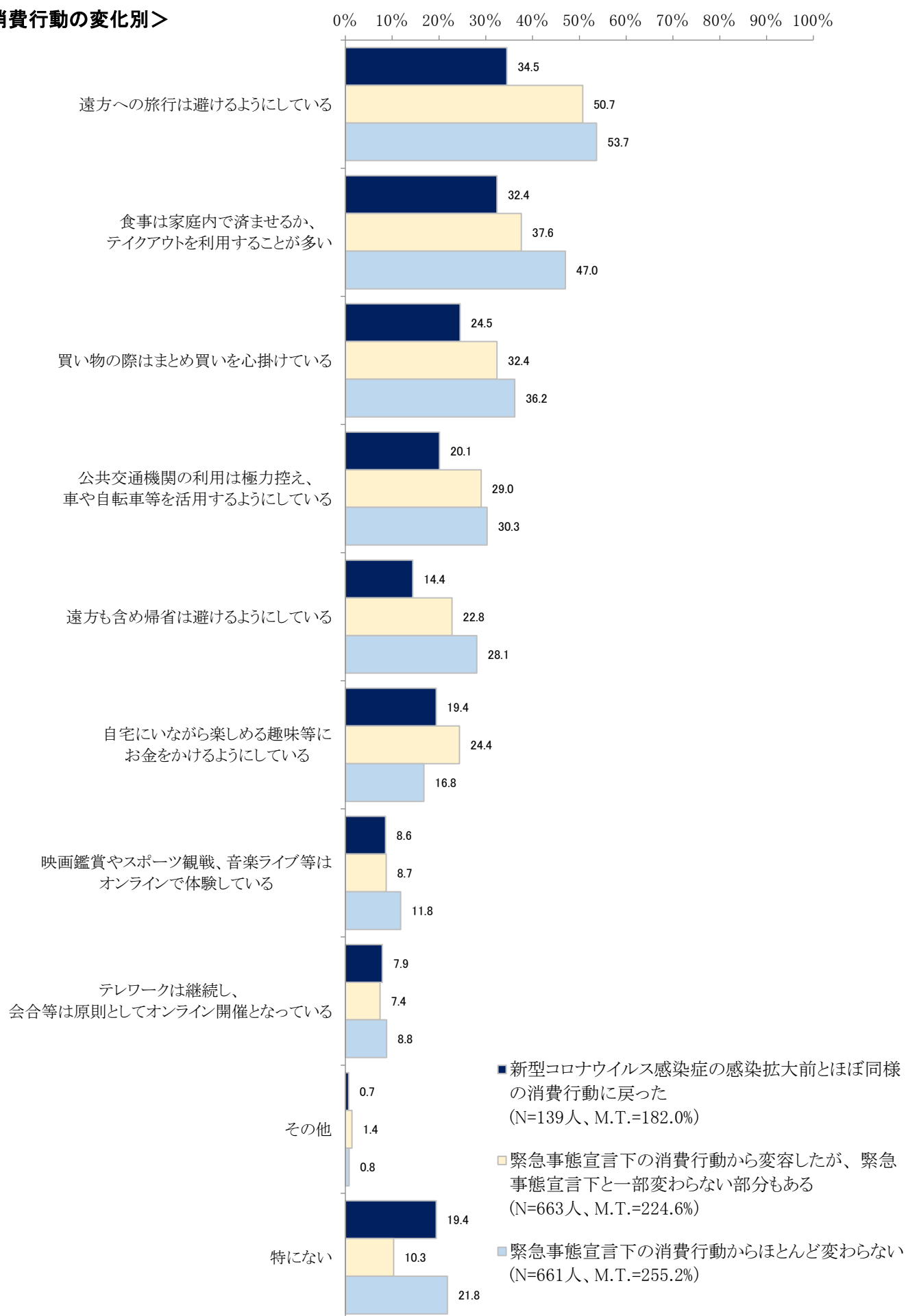
<性別>



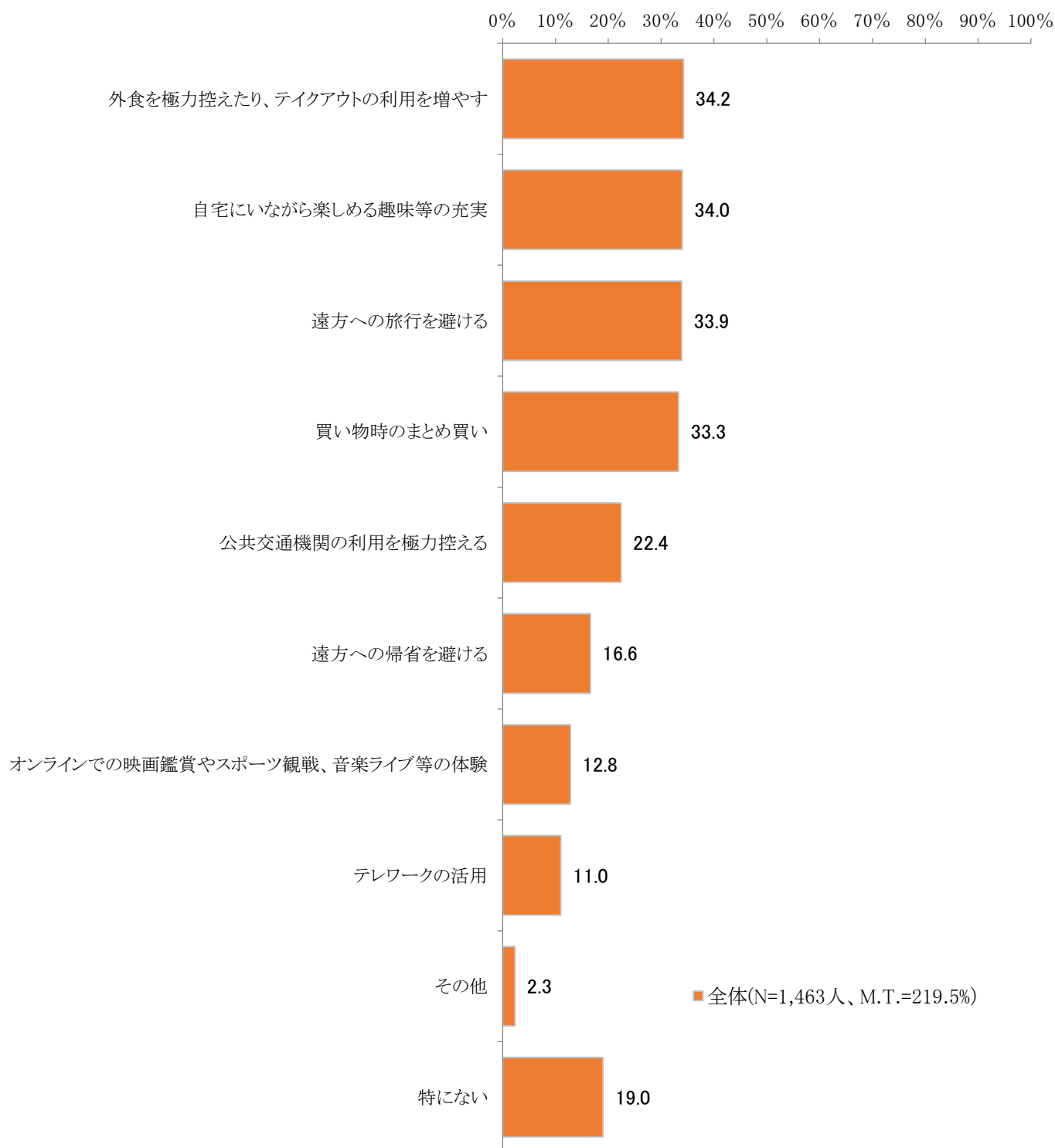
<年代別>



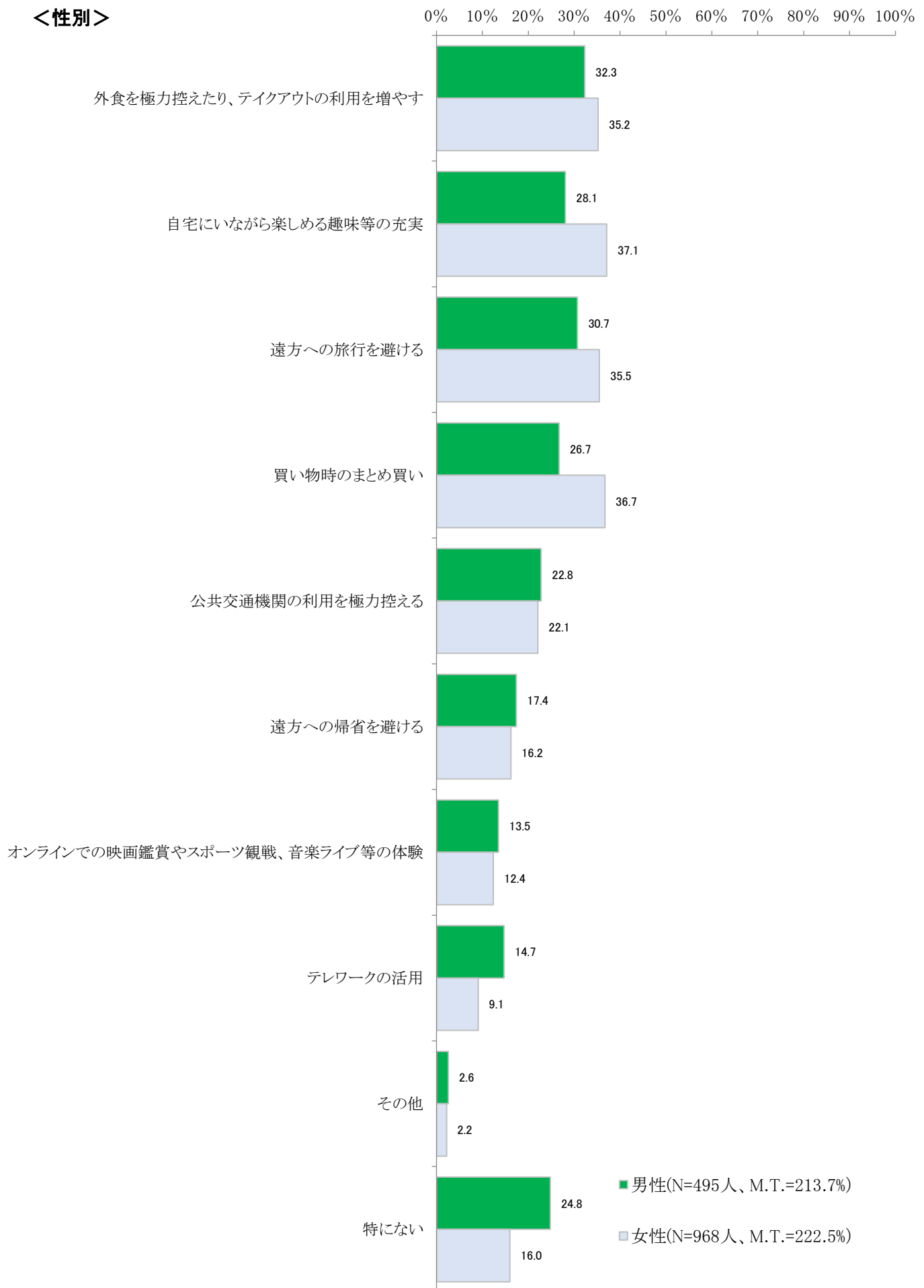
＜消費行動の変化別＞



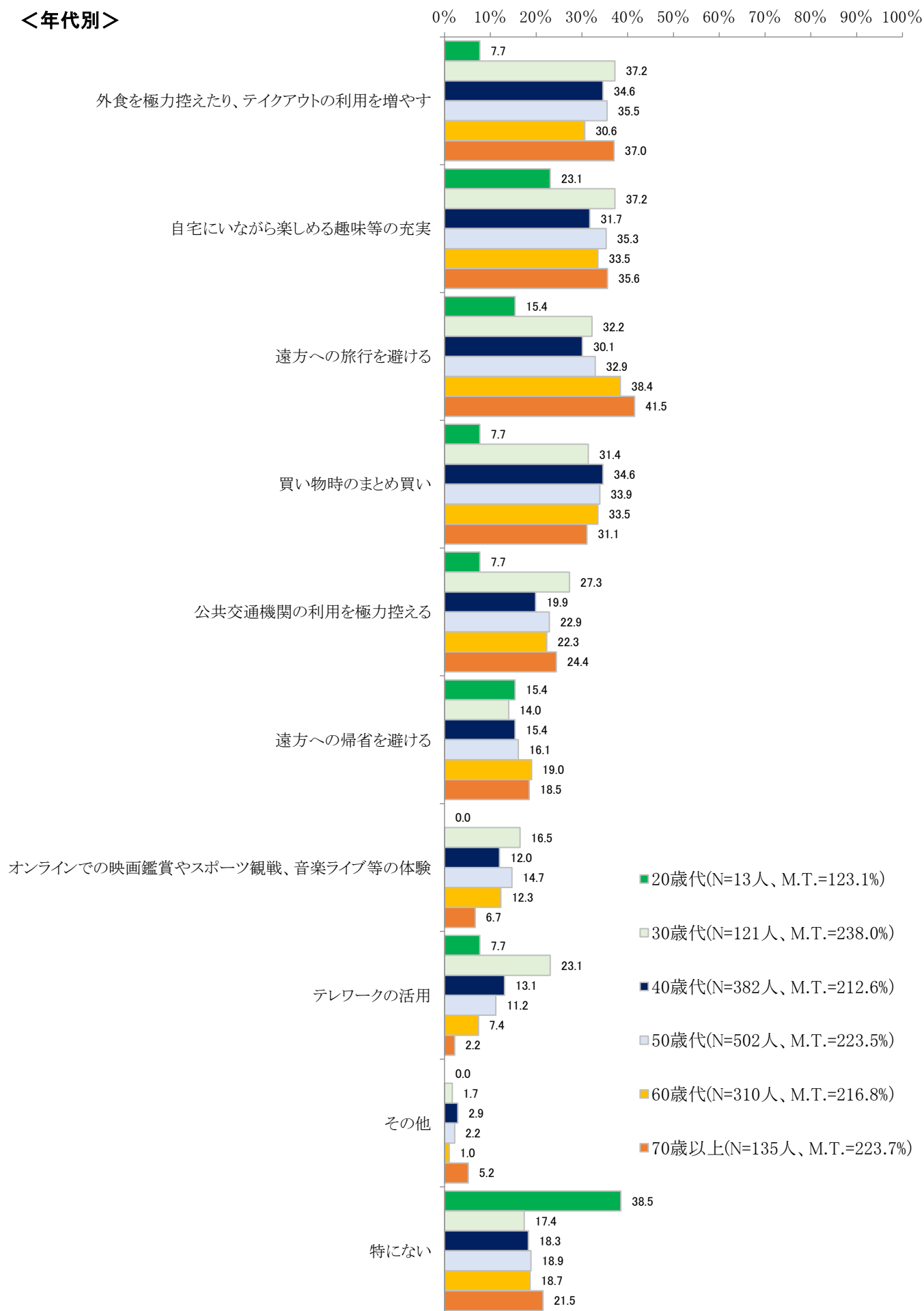
**問5 昨年1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大を受け消費行動等の変容を余儀なくされた時期もあったかと思いますが、今後も引き続き行っていきたいことは何ですか。
当てはまるものを全て選んでください。**



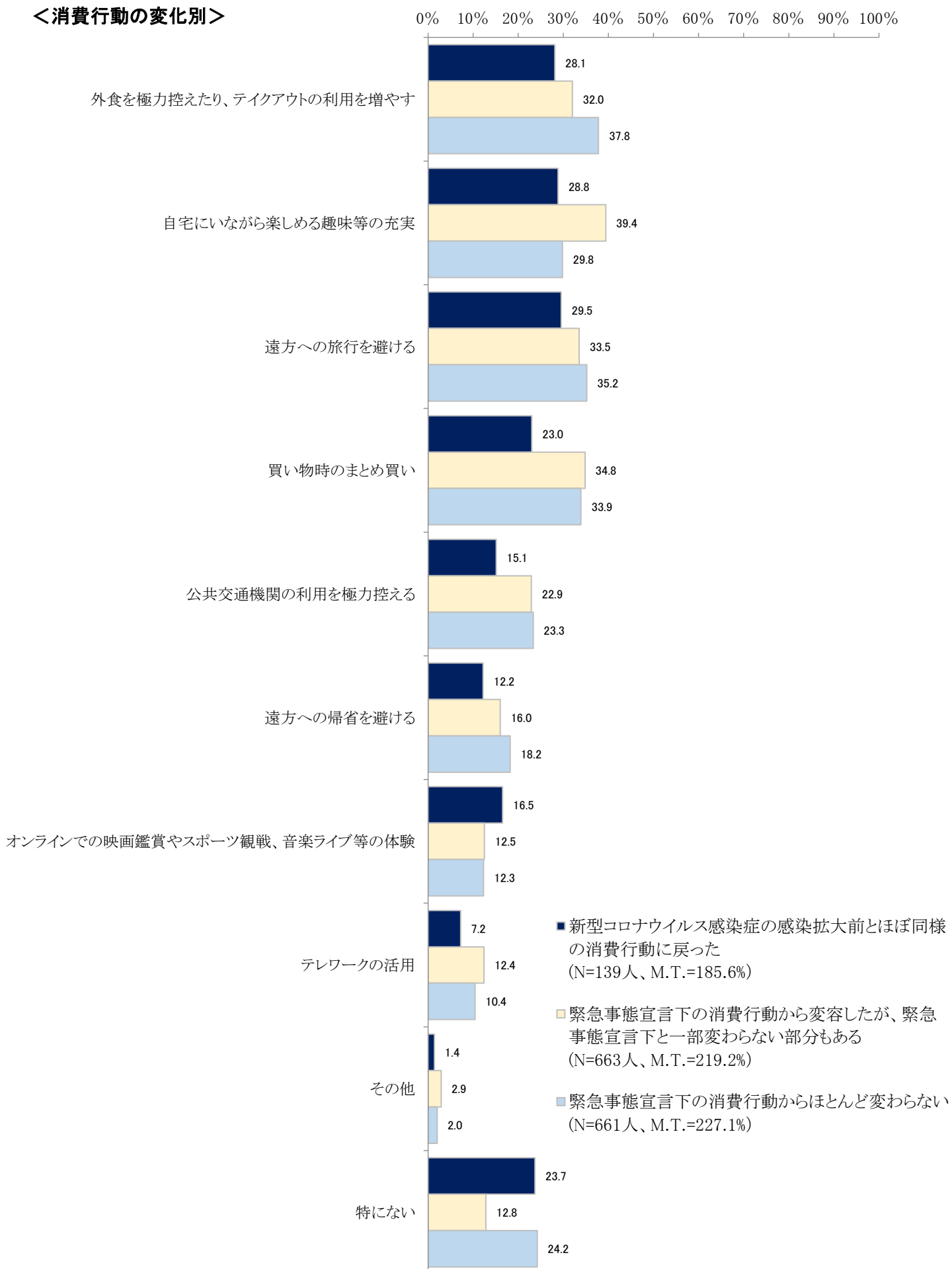
<性別>



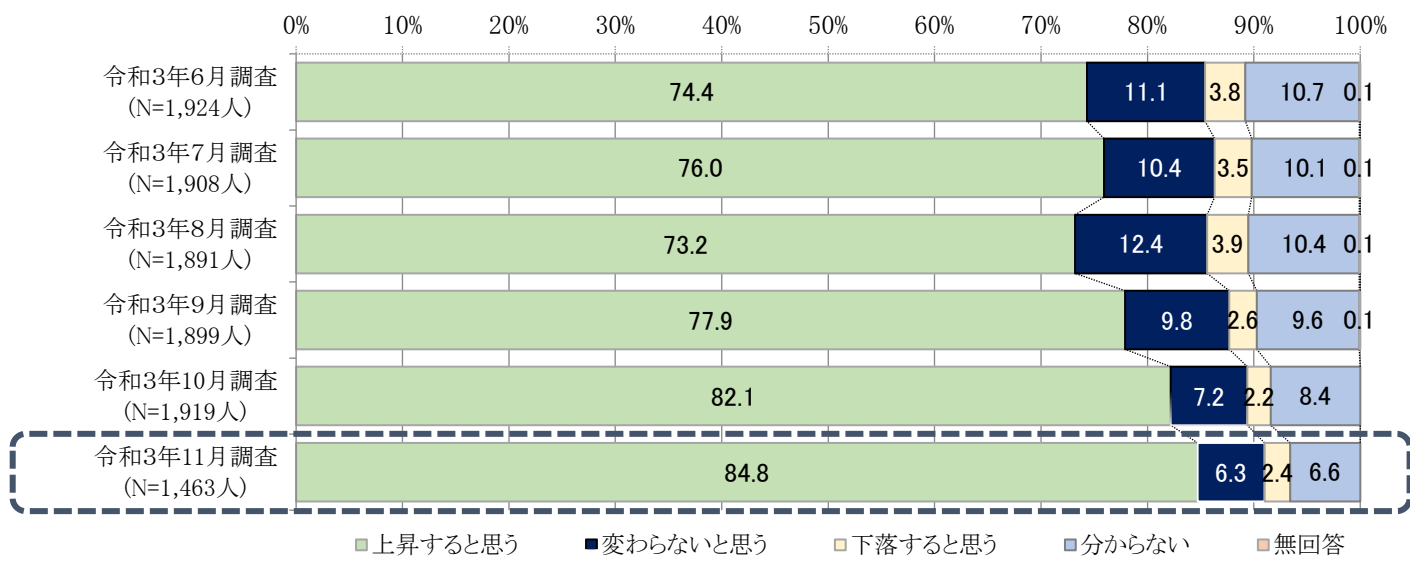
<年代別>



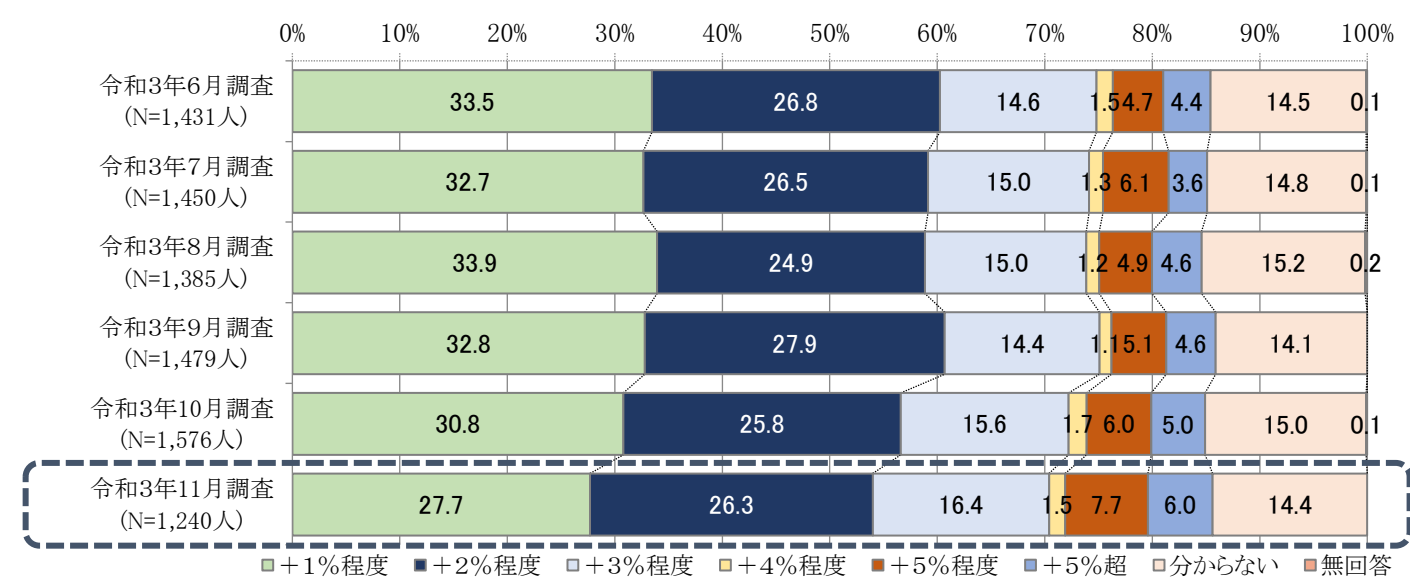
＜消費行動の変化別＞



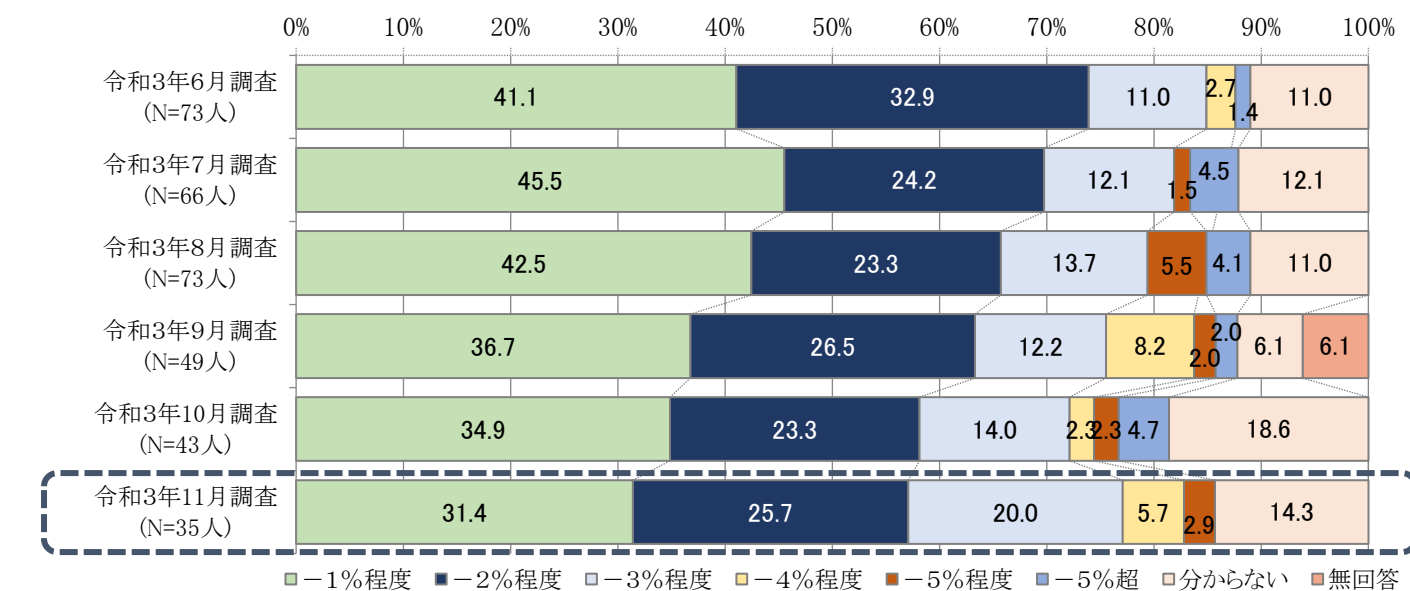
問6 あなたが普段購入している生活関連物資全般の価格は、現時点と比べて1年後には、上昇すると思いますか、下落すると思いますか。1つ選んでください。
(参考)消費者物価指数は、前年同月比▲0.4%となっています(令和3年8月分)。



問7 (問6で「上昇すると思う」を選んだ方がお答えください。)
どのくらい上昇すると思いますか。

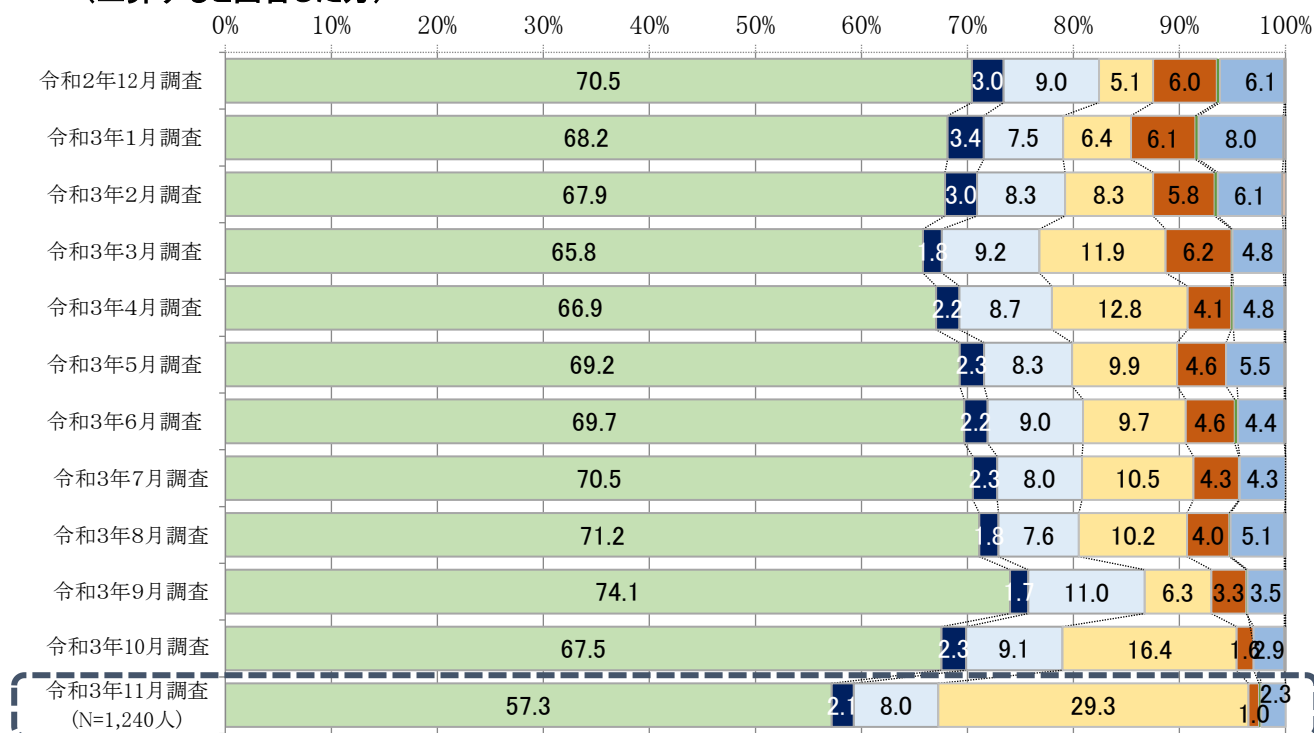


問8 (問6で「下落すると思う」を選んだ方がお答えください。)
どのくらい下落すると思いますか。



問9 問6で回答した理由は、以下のいずれでしょうか。1つ選んでください。

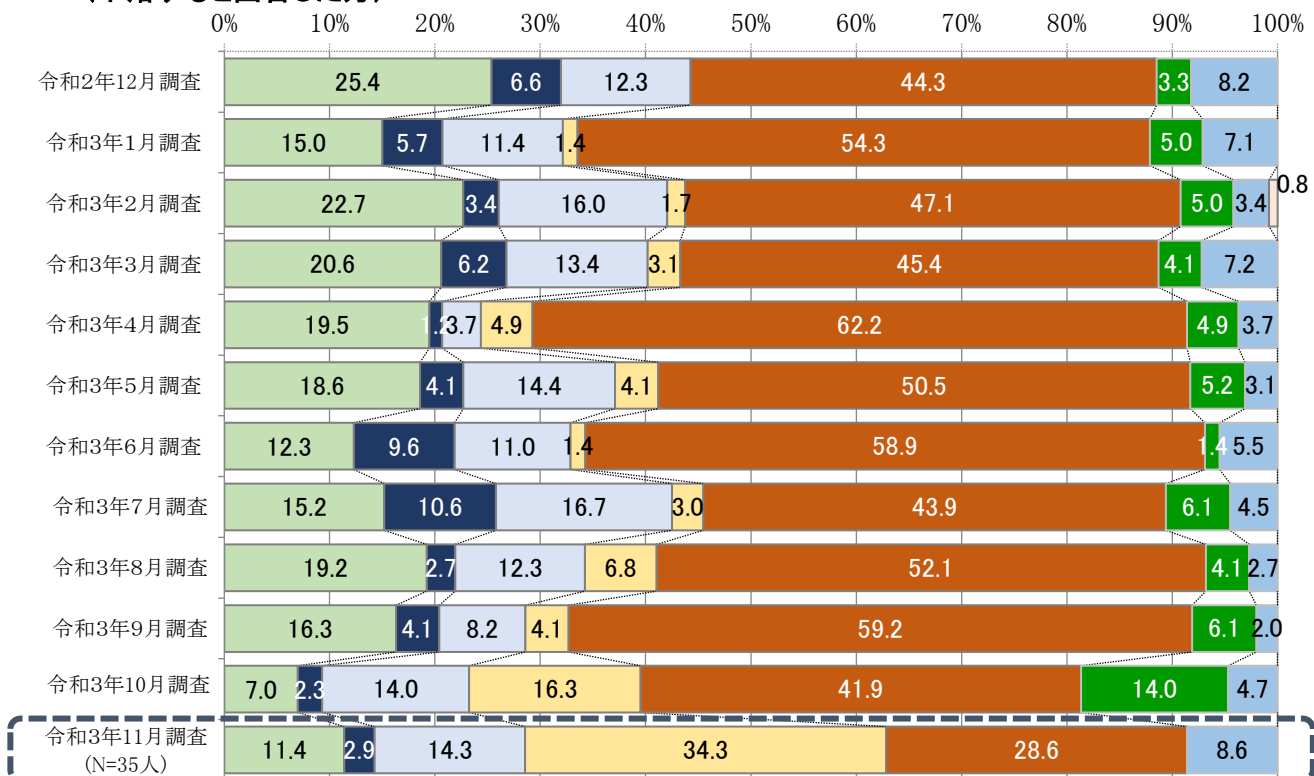
(上昇すると回答した方)



- 身近な商品の価格が過去数箇月において上昇しており、その傾向が続くと思うから
- 政府・日本銀行の発表を受けて
- 報道等(民間エコノミスト等専門家の予想)でそのような話題を見かけるから
- 原油価格や為替等の変動を受けて
- 景気が良くなると感じるから
- 収入が増えると思うから
- その他
- 無回答

※「収入が増えると思うから」及び「無回答」の割合は、いずれも1%未満であるため、データラベルは非表示

(下落すると回答した方)

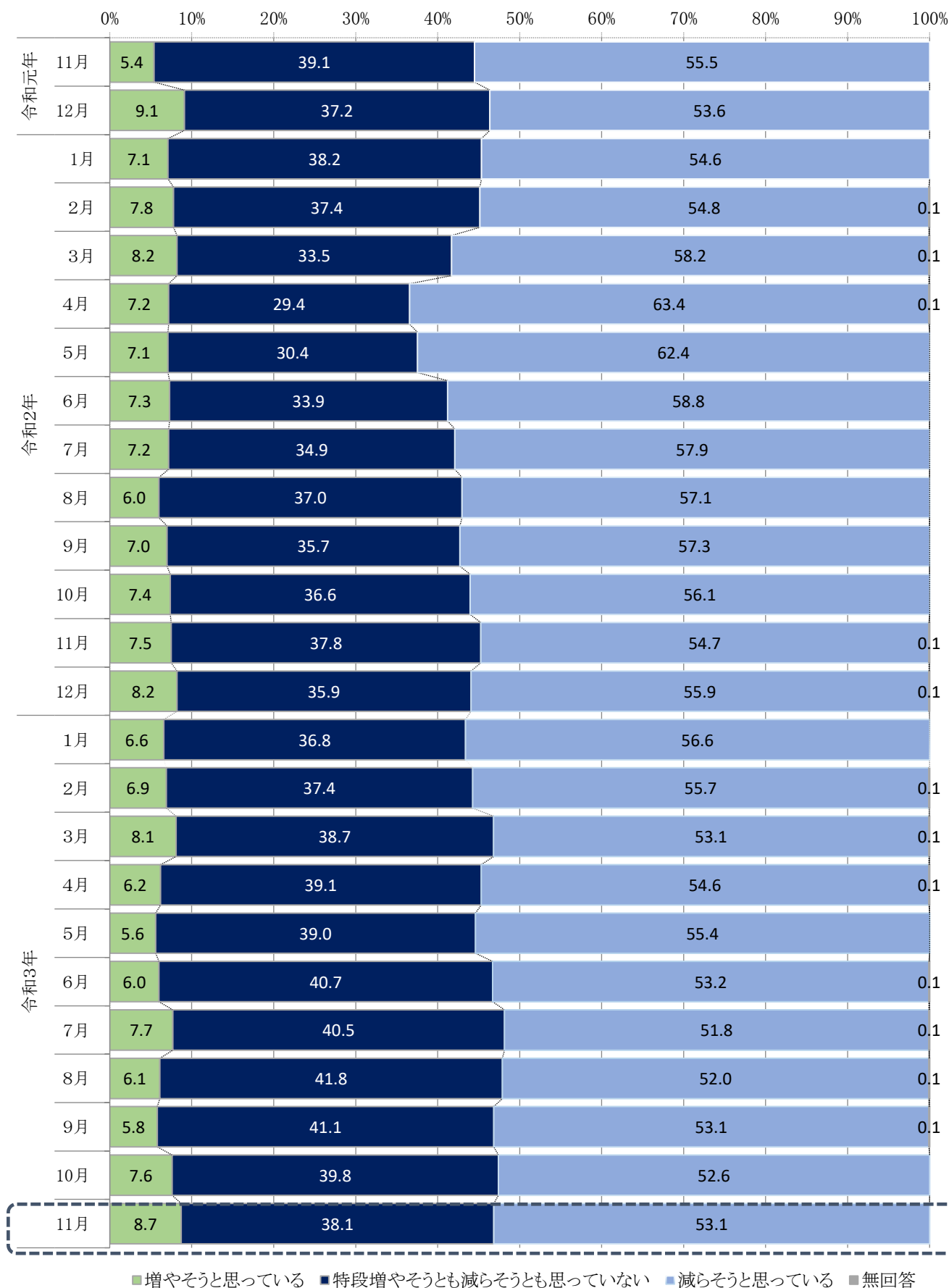


- 身近な商品の価格が過去数箇月において下落しており、その傾向が続くと思うから
- 政府・日本銀行の発表を受けて
- 報道等(民間エコノミスト等専門家の予想)でそのような話題を見かけるから
- 原油価格や為替等の変動を受けて
- 景気が悪くなると感じるから
- 収入が減ると思うから
- その他
- 無回答

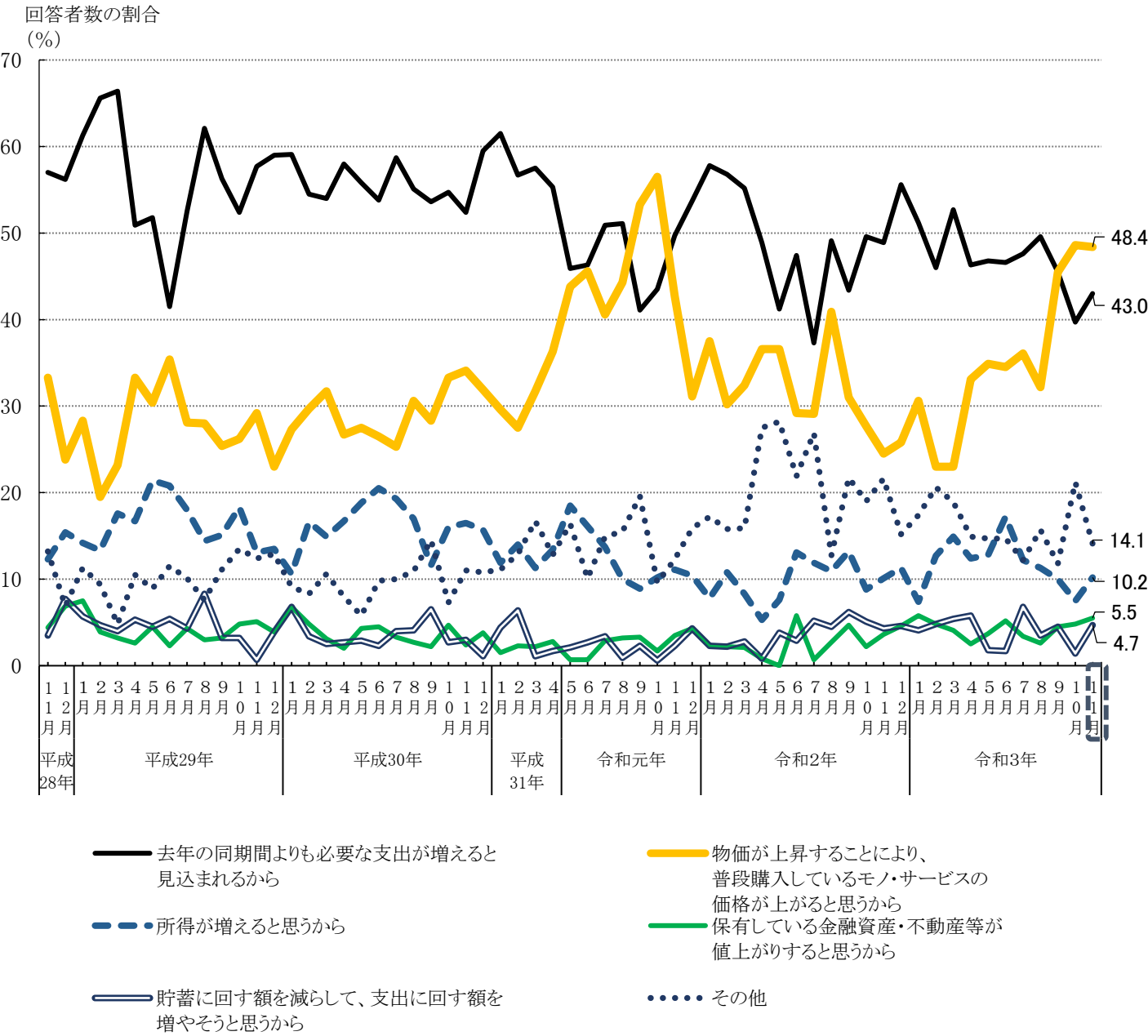
(参考)消費についての意識

※以下、令和元年8～11月調査は4,000名のモニターを対象とした調査結果を集計

問1 あなたの世帯の消費への支出額を、今後3か月の間について、去年の同期間と比べて、どのようにしていこうと思っていますか。1つ選んでください。



問2（問1で「増やそうと思っている」を選んだ方がお答えください。）
その理由は以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。



(注) 各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Totalの略:回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成28年度	回答者数(人)	95	93	103	106	109	103	93	114	130	106	128	125
	M.T.(%)	134.7	114.0	110.7	116.0	119.2	120.4	122.6	123.7	116.9	128.3	116.4	119.2
平成29年度	回答者数(人)	114	112	130	139	132	126	126	137	178	132	145	161
	M.T.(%)	120.2	122.4	116.9	118.7	124.2	115.1	118.3	118.2	116.3	119.7	118.6	118.0
平成30年度	回答者数(人)	150	138	132	150	147	138	150	164	185	135	171	186
	M.T.(%)	114.7	115.2	118.9	120.7	121.1	116.7	119.3	119.5	122.7	120.0	119.9	120.4
令和元年度	回答者数(人)	179	146	149	175	219	214	177	171	164	128	139	145
	M.T.(%)	122.3	127.4	122.1	126.3	125.1	128.5	123.2	121.6	120.1	125.0	119.4	117.2
令和2年度	回答者数(人)	131	131	137	134	110	129	137	139	151	121	126	148
	M.T.(%)	120.6	117.6	120.4	111.9	122.7	120.2	112.4	113.7	117.2	117.4	111.9	119.6
令和3年度	回答者数(人)	121	109	116	147	115	110	146	128				
	M.T.(%)	118.2	115.6	120.7	118.4	114.8	121.8	123.3	125.8				

消費を増やそうと思っているのは、以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。

Figure 1: Monthly Index of Consumer Prices (January 2016 to January 2023)

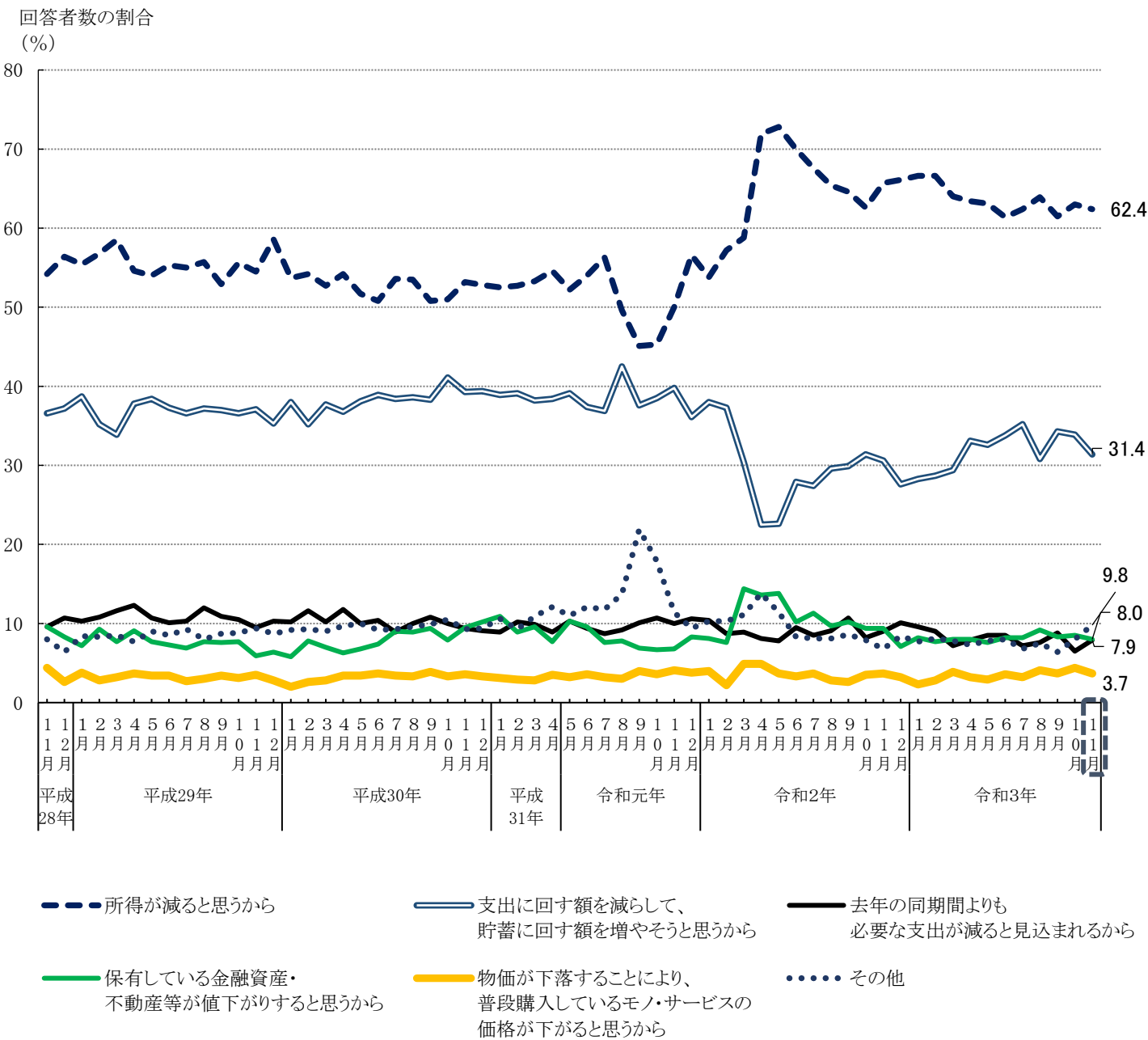
The graph displays the monthly index of consumer prices for five categories from January 2016 to January 2023. The Y-axis represents the index value, ranging from 0 to 80. The X-axis shows the years from Heisei 28 to Reiwa 3. The categories are: Food (black solid line), Daily necessities (orange solid line), Durable goods (dark blue dashed line), Services (green solid line), and Others (dark blue dotted line).

Key observations:

- The Food index shows the highest volatility, peaking at 68.8 in January 2023.
- Daily necessities peaked at 63.9 in September 2021.
- Services peaked at 39.5 in November 2021.
- Durable goods peaked at 35.9 in April 2022.
- Others peaked at 25.0 in April 2022.

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成28年度	回答者数(人)	95	93	103	106	109	103	93	114	130	106	128	125
	M.T.(%)	162.2	153.9	150.5	148.1	156.9	166.2	148.4	159.6	159.2	161.3	164.0	166.4
平成29年度	回答者数(人)	114	112	130	139	132	126	126	137	178	132	145	161
	M.T.(%)	175.5	177.8	180.0	159.0	169.7	163.5	160.3	171.5	164.0	176.5	166.9	164.6
平成30年度	回答者数(人)	150	138	132	150	147	138	150	164	185	135	171	186
	M.T.(%)	163.3	162.3	175.8	170.0	166.0	168.8	170.0	174.4	177.3	163.0	176.6	175.8
令和元年度	回答者数(人)	179	146	149	175	219	214	177	171	164	128	139	145
	M.T.(%)	177.1	184.9	191.3	184.0	179.0	198.6	187.0	183.0	181.1	185.2	177.7	193.8
令和2年度	回答者数(人)	131	131	137	134	110	129	137	139	151	121	126	148
	M.T.(%)	168.7	187.8	173.7	179.9	178.2	172.1	168.6	168.3	172.8	178.5	170.6	173.0
令和3年度	回答者数(人)	121	109	116	147	115	110	146	128				
	M.T.(%)	182.6	184.4	179.3	173.5	169.6	177.3	174.0	181.3				

問4（問1で「減らそうと思っている」を選んだ方がお答えください。）
その理由は以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。



(注) 各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Totalの略:回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成28年度	回答者数(人)	957	978	1,032	994	944	966	942	972	955	978	981	964
	M.T.(%)	129.7	127.9	126.4	126.5	123.0	125.3	123.7	122.4	121.6	123.8	123.0	123.4
平成29年度	回答者数(人)	1,006	1,012	997	983	969	979	964	983	952	994	983	962
	M.T.(%)	125.2	123.3	122.0	121.1	123.6	120.4	122.5	120.2	122.4	119.0	120.8	119.4
平成30年度	回答者数(人)	972	1,010	985	975	973	953	939	965	939	970	995	990
	M.T.(%)	122.2	120.0	120.3	122.7	123.9	123.1	124.1	124.4	124.2	124.9	123.2	124.7
令和元年度	回答者数(人)	1,031	1,059	1,047	1,023	1,726	1,893	1,921	1,767	963	982	981	1,023
	M.T.(%)	125.2	126.2	126.2	124.5	125.7	125.5	122.7	122.4	124.9	124.5	123.3	128.5
令和2年度	回答者数(人)	1,158	1,147	1,104	1,071	1,053	1,062	1,043	1,015	1,033	1,041	1,024	973
	M.T.(%)	134.9	132.1	129.3	126.7	124.8	126.6	123.0	125.3	122.5	122.8	122.9	120.3
令和3年度	回答者数(人)	1,062	1,075	1,024	988	984	1,008	1,009	777				
	M.T.(%)	123.0	122.5	123.7	123.4	123.2	123.1	124.5	123.2				

消費を減らそうと思っているのは、以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。

このグラフは、2016年1月から2023年1月までの毎月消費者物価指数の推移を示しています。縦軸は指数値（0～80）で、横軸は年と月（平成28年1月～令和3年1月）で示されています。5つの品目別指数が追跡されており、右側に最新の1月（令和3年1月）の指数値が記載されています。

品目	令和3年1月の指数
食料品	68.6
日用・家事用品	65.6
サービス	58.6
耐久消費財	54.4
その他	4.8

(注) 各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Totalの略:回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成28年度	回答者数(人)	957	978	1,032	994	944	966	942	972	955	978	981	964
	M.T.(%)	233.4	229.0	230.8	232.2	228.4	227.3	227.9	228.7	233.4	228.5	231.6	235.0
平成29年度	回答者数(人)	1,006	1,012	997	983	969	979	964	983	952	994	983	962
	M.T.(%)	233.3	229.9	229.9	235.1	237.5	240.6	241.7	240.7	239.1	239.2	241.3	240.0
平成30年度	回答者数(人)	972	1,010	985	975	973	953	939	965	939	970	995	990
	M.T.(%)	236.1	240.0	237.1	236.9	240.3	245.0	246.4	241.7	247.9	246.9	243.1	247.7
令和元年度	回答者数(人)	1,031	1,059	1,047	1,023	1,726	1,893	1,921	1,767	963	982	981	1,023
	M.T.(%)	246.1	246.9	247.2	249.1	238.1	240.7	240.6	239.2	251.8	251.2	254.8	258.2
令和2年度	回答者数(人)	1,158	1,147	1,104	1,071	1,053	1,062	1,043	1,015	1,033	1,041	1,024	973
	M.T.(%)	257.8	261.6	251.6	247.5	247.9	249.5	248.1	252.7	249.4	256.5	252.0	251.3
令和3年度	回答者数(人)	1,062	1,075	1,024	988	984	1,008	1,009	777				
	M.T.(%)	250.8	247.5	254.8	250.9	248.2	249.6	250.8	252.0				

3. 今回調査(速報)の回答者の属性

今回調査の回答者数: 1,463人

①性別

男性	495人 (33.8%)
女性	968人 (66.2%)

②年齢

20～29歳	13人 (0.9%)
30～39歳	121人 (8.3%)
40～49歳	382人 (26.1%)
50～59歳	502人 (34.3%)
60～69歳	310人 (21.2%)
70歳以上	135人 (9.2%)

③職業

正社員	402人 (27.5%)
正社員以外の被雇用者	413人 (28.2%)
会社、団体などの役員	12人 (0.8%)
自営業	58人 (4.0%)
専業の主婦・主夫	401人 (27.4%)
学生	5人 (0.3%)
無職	147人 (10.0%)
その他	25人 (1.7%)

④居住地方

北海道	64人 (4.4%)
東北地方	94人 (6.4%)
関東地方	503人 (34.4%)
北陸甲信越地方	87人 (5.9%)
中部地方	177人 (12.1%)
近畿地方	233人 (15.9%)
中国地方	97人 (6.6%)
四国地方	53人 (3.6%)
九州・沖縄地方	155人 (10.6%)

⑤居住形態

単身	108人 (7.4%)
二人暮らし	545人 (37.3%)
三人暮らし	404人 (27.6%)
四人暮らし	301人 (20.6%)
五人以上	105人 (7.2%)

⑥世帯年収

300万円未満	211人 (14.4%)
300～500万円	399人 (27.3%)
500～700万円	378人 (25.8%)
700～1,000万円	309人 (21.1%)
1,000万円以上	166人 (11.3%)